

55BDL3105X V1.00



www.philips.com/welcome

ユーザーマニュアル (日本語)

PHILIPS

SignageSolutions

安全上の注意

安全のための注意事項とメンテナンス



警告：本書で指定していない制御、調整または手順を使用すると、感電、電氣的障害、機械的災害につながる可能性があります。

ディスプレイを接続し使用しているときは、これらの指示を読んで従ってください。

操作時：

- ・ ディスプレイを直射日光にさらしたりせず、他の熱源から離れた位置に設置してください。
- ・ 十分に換気された場所にディスプレイを設置してください。
- ・ 屋外で動作させる場合は、紫外線フィルターが必要です。
- ・ 温度が高い、湿度が高い、表示頻度が高い、動作時間が長いなど、過度な条件下でディスプレイを使用する場合 Philips に連絡して、アプリケーションエンジニアによる助言を受けてください。そうしないと、ディスプレイの信頼性と機能を保証できません。過度な条件は、通常、空港、乗換駅、銀行、株式市場、制御システムに存在します。
- ・ 通気口に落下する可能性のある物体を取り除き、ディスプレイの電子機器の適切な冷却を妨げないようにしてください。
- ・ キャビネットの通気口を塞がないでください。
- ・ ディスプレイの位置を定めているとき、電源プラグとコンセントに容易に手が届くことを確認してください。
- ・ 電源コードを取り外すことでディスプレイの電源をオフにする場合、6 秒待ってから電源コードを再び取り付けて通常操作を行ってください。
- ・ Philips が提供する認可された電源コードを使用してください。電源コードが不足している場合、最寄りのサービスセンターにご連絡ください。
- ・ 操作中、ディスプレイを強い振動や高い衝撃条件にさらさないでください。
- ・ ディスプレイの操作中あるいは運搬中に、ディスプレイを叩いたり落としたりしないでください。
- ・ アイボルトはメンテナンスや設置の際に短期間使用するためのものです。1 時間以上にわたりアイボルトを使用し続けたいことを推奨しません。長期にわたる使用は禁止されています。アイボルトの使用中は、ディスプレイの下に障害物のない安全領域を確保してください。

メンテナンス：

- ・ ディスプレイを損傷の可能性から保護するために、LCD パネルに過剰な圧力をかけないでください。ディスプレイを動かすときは、フレームをつかんで持ち上げてください。LCD パネルに手や指を置いてディスプレイを持ち上げないでください。
- ・ 長時間使用する予定がない場合、ディスプレイのプラグを抜いてください。
- ・ 清掃時にはディスプレイのプラグを抜き、汚れのふき取りには柔らかい布をご使用ください。落ちにくい場合は少量の水をしめらせた布でふき取ってください。ただし、アルコール、アンモニアベースの液体などの有機溶剤を使用してディスプレイを洗浄することは絶対におやめください。
- ・ 感電や装置の永久的な損傷の原因となるため、ディスプレイを埃、雨、水、湿気の多い環境にさらさないでください。
- ・ ディスプレイが濡れたら、できるだけ速やかに乾いた布で拭いてください。
- ・ ディスプレイに異物や水が入ったら、直ちに電源をオフにし、電源コードを抜いてください。それから、異物や水を取り除き、メンテナンスセンターに送ってください。
- ・ 熱、直射日光、極端な低温にさらされる場所でディスプレイを保管したり、使用したりしないでください。
- ・ ディスプレイ最高のパフォーマンスを維持し長く使用するために、次の温度および湿度範囲に入る場所でディスプレイを使用することを強くお勧めします。

環境的絶対定格

項目	最小	最大	単位
保管温度	-20	65	°C
動作温度	0	40	°C
ガラス面温度（動作時）	0	65	°C
保管湿度	5	90	% RH
動作湿度	20	80	% RH

- ・ 輝度の性能を向上させるため、LCD パネルの温度は常に摂氏 25 度に保つ必要があります。
- ・ ディスプレイを適切な動作条件で使用する場合のみ、本仕様に記載するディスプレイの寿命が保証されます。

重要：ディスプレイの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーを有効にしてください。装置が変化しない静止コンテンツを表示している場合、常に定期的に画面更新アプリケーションを起動してください。長時間静止画像を表示すると、画面に「後イメージ」または「ゴースト像」として知られる「焼き付き」が表示される原因となります。これは LCD パネル技術ではよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。

警告：「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これは、保証には含まれません。

サービス：

- ・ ケースカバーは専門の修理技術者以外は絶対に開けないでください。
- ・ 修理または統合が必要な場合、最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。
- ・ ディスプレイを直射日光にさらさないでください。



本書で設定した指示に従っても本ディスプレイが正常に動作しない場合は、修理スタッフまたは最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。

安定性に関する危険。

ディスプレイが落下すると、重傷または死亡を引き起こす可能性があります。怪我を防止するため、設置に関する指示事項に従って、床 / 壁にディスプレイをしっかりと固定してください。

ディスプレイを接続し使用しているときは、これらの指示を読んで従ってください。



- ・ アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。又、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してから行ってください。
- ・ 長時間使用する予定がない場合、ディスプレイのプラグを抜いてください。
- ・ 清掃時にはディスプレイのプラグを抜き、汚れのふき取りには柔らかい布をご使用ください。電源をオフにしているとき、画面を乾いた布で拭くことができます。ただし、アルコール、溶剤、またはアンモニアベースの液体は絶対に使用しないでください。
- ・ 本書の指示に従っているときにディスプレイが正常に作動しない場合、修理スタッフにお問い合わせください。
- ・ ケースカバーは専門の修理技術者以外は絶対に開けないでください。
- ・ ディスプレイを直射日光にさらしたりせず、他の熱源から離れた位置に設置してください。
- ・ 通気口に落下する可能性のある物体を取り除き、ディスプレイの電子機器の適切な冷却を妨げないようにしてください。
- ・ キャビネットの通気口を塞がないでください。
- ・ ディスプレイは乾燥した状態を保つようにしてください。感電の原因となるため、雨や過度の湿気にさらさないでください。
- ・ 電源ケーブルや DC 電源コードを取り外すことでディスプレイの電源をオフにする場合、6 秒待ってから電源ケーブルや DC 電源コードを取り付けて通常操作を行ってください。
- ・ 感電や装置の永久的な損傷の原因となるため、ディスプレイを雨や過度の湿気にさらさないでください。
- ・ ディスプレイの位置を定めているとき、電源プラグとコンセントに容易に手が届くことを確認してください。
- ・ **重要：**ディスプレイを使用しない場合、スクリーンセーバープログラムを常に有効にしておいてください。コントラストの高い静止画像が長期間画面に表示されていると、画面の前面に「後イメージ」または「ゴースト像」が残ることがあります。これは、LCD 技術に特有の欠点に起因する、よく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると後イメージは時間と共に徐々に消えます。後イメージ症状は修理できず、保証に含まれないことにご注意ください。
- ・ 電源コードに 3 ピン取り付けプラグが付属している場合は、接地（アース）された 3 ピンコンセントにコードを接続してください。たとえば、2 ピンアダプターを取り付けて、電源コードの接地ピンを無効にしないでください。接地ピンは重要な安全機能です。

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

目次

1.	開梱と設置	1	4.2.	画像フォーマットを変更する	17
1.1.	開梱	1	4.3.	ローカルエリアネットワークを経由してマルチメディアファイルを再生する	17
1.2.	パッケージに含まれるもの	1	4.3.1.	ネットワーク設定	17
1.3.	設置に関する注意事項	1	4.3.2.	DLNA-DMP の使い方	17
1.4.	壁に取り付ける	2	4.3.3.	PC から DLNA-DMR を使うには	18
1.4.1.	VESA グリッド	2	4.4.	USB デバイスのマルチメディア ファイルを再生する	19
1.5.	縦向きに取り付ける	3	4.5.	再生オプション	19
1.6.	エッジアラインメントキットの操作に関する指示	4	4.5.1.	音楽ファイルの再生	19
1.6.1.	エッジアラインメントキットを取り付ける	4	4.5.2.	ムービーファイルの再生	19
1.6.2.	エッジアラインメントピンを取り付ける	5	4.5.3.	写真ファイルの再生	20
1.7.	エッジ仕上げキットの使用 (オプション)	6	4.6.	Opera ブラウザ (HTML5) の使い方	20
1.7.1.	エッジ仕上げキットを取り付ける	6	5.	設定を変更するには	21
2.	各部の機能	7	5.1.	設定	21
2.1.	コントロールパネル	7	5.1.1.	画像	21
2.2.	入力 / 出力端子	8	5.1.2.	音声	22
2.3.	リモコン	9	5.1.3.	タイル	22
2.3.1.	一般の機能	9	5.1.4.	ネットワーク	25
2.3.2.	リモコン ID	10	5.1.5.	一般設定	25
2.3.3.	リモコンに乾電池を挿入する	11	5.1.6.	詳細設定	28
2.3.4.	リモコンの取り扱い	11	5.1.7.	ヘルプ	28
2.3.5.	リモコンの動作範囲	11	6.	USB デバイス互換性	29
3.	外部機器を接続する	12	7.	入力モード	31
3.1.	外部機器 (DVD/VCR/VCD) の接続	12	8.	画素欠陥ポリシー	32
3.1.1.	コンポーネントビデオ入力の使用	12	8.1.	画素とサブ画素	32
3.1.2.	ビデオソース入力の使用	12	8.2.	画素欠陥の種類 + ドット定義	32
3.1.3.	HDMI ビデオ入力の使用	13	8.3.	明るいドット欠陥	32
3.2.	PC の接続	13	8.4.	暗いドット欠陥	33
3.2.1.	VGA 入力の使用	13	8.5.	画素欠陥の近接	33
3.2.2.	DVI 入力の使用	13	8.6.	画素欠陥の許容範囲	33
3.2.3.	HDMI 入力の使用	14	8.7.	MURA	33
3.2.4.	DisplayPort 入力の使用	14	9.	清掃とトラブルシューティング	34
3.3.	オーディオ機器の接続	14	9.1.	清掃	34
3.3.1.	外部スピーカーの接続	14	9.2.	トラブルシューティング	35
3.4.	デジチェーン構成で複数のディスプレイを接続する	15	10.	技術仕様	36
3.4.1.	ディスプレイコントロール接続	15			
3.4.2.	デジタルビデオ接続	15			
3.5.	IR 接続	15			
3.6.	IR パススルー接続	16			
3.7.	ケーブルを使ったネットワーク接続	16			
4.	取り扱い	17			
4.1.	接続されたビデオソースから鑑賞する	17			

1. 開梱と設置

1.1. 開梱

- ・ 本ディスプレイは、標準アクセサリと共に1つの段ボールに梱包されています。
- ・ 他のオプションのアクセサリは、個別に梱包されます。
- ・ 本ディスプレイは背が高く重いため、移動操作は2人の技術者が行うようにしてください。
- ・ 段ボールを開けた後、内容物に足りないものがなく、良好な状態であることを確認してください。

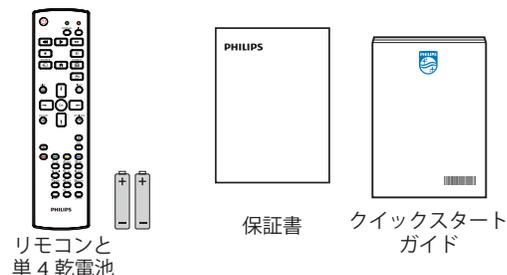
1.2. パッケージに含まれるもの

パッケージに次の品目が揃っていることを確認してください。

- ・ LCD ディスプレイ
- ・ リモコン (単 4 乾電池を含む)
- ・ クイックスタートガイド
- ・ 保証書
- ・ 電源コード
- ・ DVI ケーブル
- ・ D-SUB ケーブル
- ・ HDMI ケーブル
- ・ RS232 ケーブル
- ・ RS232 デイジーチェーンケーブル
- ・ IR センサーケーブル
- ・ IR ケーブル
- ・ クイックスタートガイド
- ・ エッジアラインメントキット 1: 1 個
- ・ エッジアラインメントキット 2: 2 個
- ・ つまみねじ: 8 個
- ・ エッジアラインメントピン: 2 個



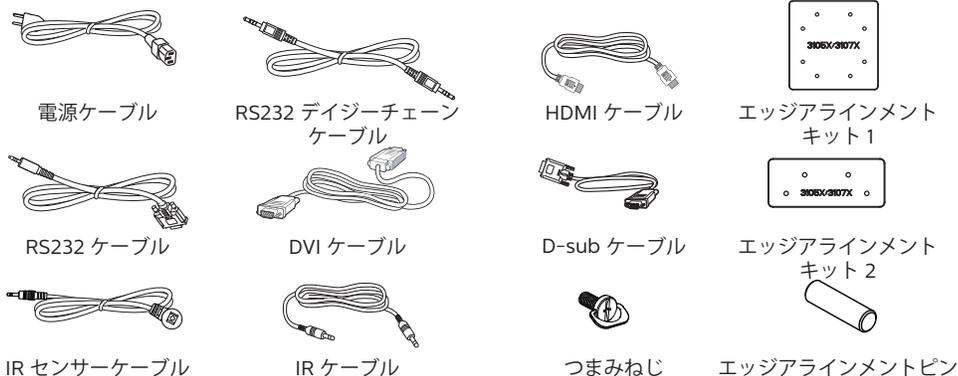
* 付属電源コードは目的地によって異なります。



リモコンと
単 4 乾電池

保証書

クイックスタート
ガイド



電源ケーブル

RS232 デイジーチェーン
ケーブル

HDMI ケーブル

エッジアラインメント
キット 1



RS232 ケーブル



DVI ケーブル



D-sub ケーブル



エッジアラインメント
キット 2



IR センサーケーブル



IR ケーブル



つまみねじ



エッジアラインメントピン

* 地域によって異なります。

ディスプレイデザインとアクセサリは、イラストと異なる場合があります。

メモ:

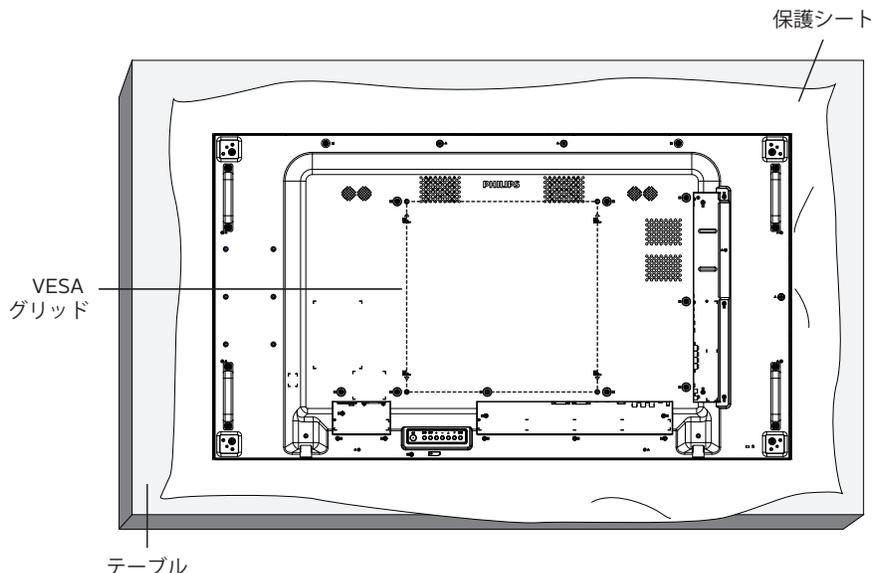
- ・ 他のすべての地域の場合、コンセントの AC 電圧に一致し、特定の国の安全規制により承認され適合する電源コードを利用してください。
- ・ ディスプレイを送送するために、段ボール箱と梱包材料を捨てずに保管するようにお勧めします。

1.3. 設置に関する注意事項

- ・ 本ディスプレイに付属する電源ケーブルのみを使用してください。延長コードが必要な場合は、代理店にお問い合わせください。
- ・ 本ディスプレイは、転倒を避けるため、平らな面に設置してください。適切な換気を保つために、ディスプレイの背面と壁に空間を維持してください。台所、浴室、湿気に曝される場所に本ディスプレイを設置しないでください。そうしないと、内部部品の寿命が短くなる可能性があります。
- ・ 高度 3,000 m 以上の場所に本ディスプレイを設置しないでください。そうしないと、誤動作の可能性があります。

1.4. 壁に取り付ける

壁に本ディスプレイを取り付ける場合は、標準壁取り付けキット（市販品）が必要です。北米では TUV-GS および / または UL1678 規格に準拠した取り付けインターフェイスを使用してください。



1. 平らな面の上で梱包とときに、本ディスプレイの周りを包んだ保護シートを広げてください。画面を傷つけることなく、操作を容易にするために、保護シートの上に、ディスプレイを下に向けた状態で置いてください。
2. 取り付けのタイプ（壁掛け、天上取り付けなど）用に必要なすべての付属品があることを確認してください。
3. 台取り付けキットに同梱の説明書に従ってください。正しい取り付け手順に従わない場合、装置の損傷、またはユーザーや取り付け作業者の怪我につながります。不適切な取り付けが原因の破損は、本ディスプレイの保証範囲に含まれません。
4. 壁取り付けキットには、M6 取り付けねじ（取り付けブラケットの厚さより 10mm 以上長いもの）を使用し、しっかりと締め付けてください。

1.4.1. VESA グリッド

55BDL3105X	400 (横) x 400 (縦) mm
------------	----------------------

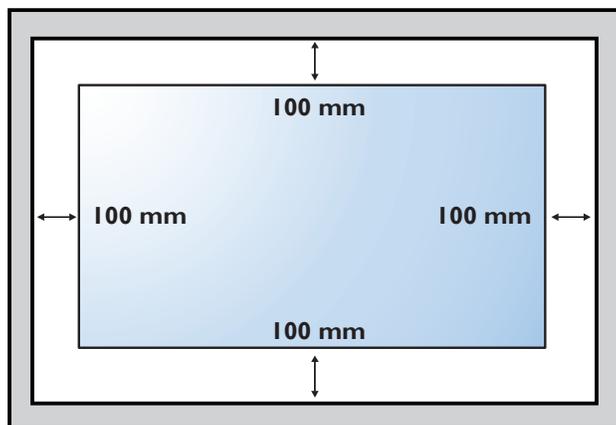
注意：

本ディスプレイの落下を防止するために：

- ・ 本ディスプレイを壁または天井へ設置する場合は、市販の金属製ブラケットを使用して設置してください。設置に関する詳細な手順については、ブラケットに付属の取扱説明書を参照してください。
- ・ 地震または他の自然災害の場合の本ディスプレイの落下を防止するために、取り付け位置について、ブラケットのメーカーにお問い合わせください。

換気のために必要な空間

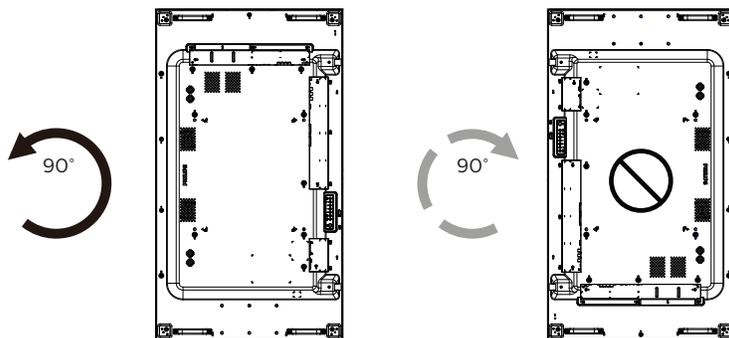
換気のために、上部、背面、左右に 100 mm の空間を維持してください。



1.5. 縦向きに取り付ける

本ディスプレイは、縦向きに設置できます。

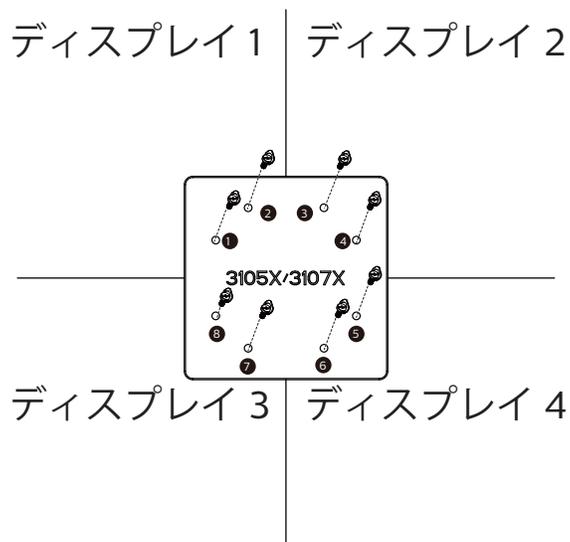
後ろから見て、ディスプレイを反時計回りに 90 度回転させてください。ディスプレイの後ろから見ると、「PHILIPS」ロゴが左側に見えます。



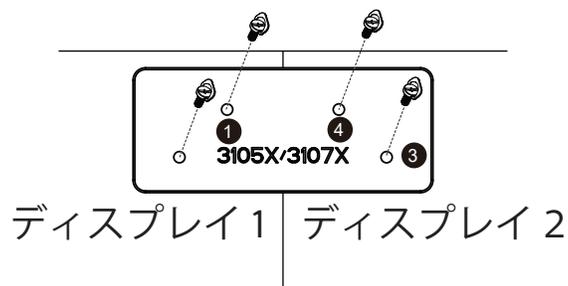
1.6. エッジアラインメントキットの操作に関する指示

1.6.1. エッジアラインメントキットを取り付ける

- ・ エッジアラインメントキットを取り付ける前に、ビデオウォールのフレームにディスプレイを正しく取り付けてください。
- ・ エッジアラインメントキットを取り付ける場合は、専門技術者にお問い合わせください。当社は、専門技術者による取り付けが行われなかった場合、ディスプレイの損傷に責任を負いません。
- ・ エッジアラインメントキットを簡単に取り付けるために、付属のつまみねじをご使用ください。
- ・ 4 台のディスプレイを隣接させる場合は、「エッジアラインメントキット 1」をご使用ください。

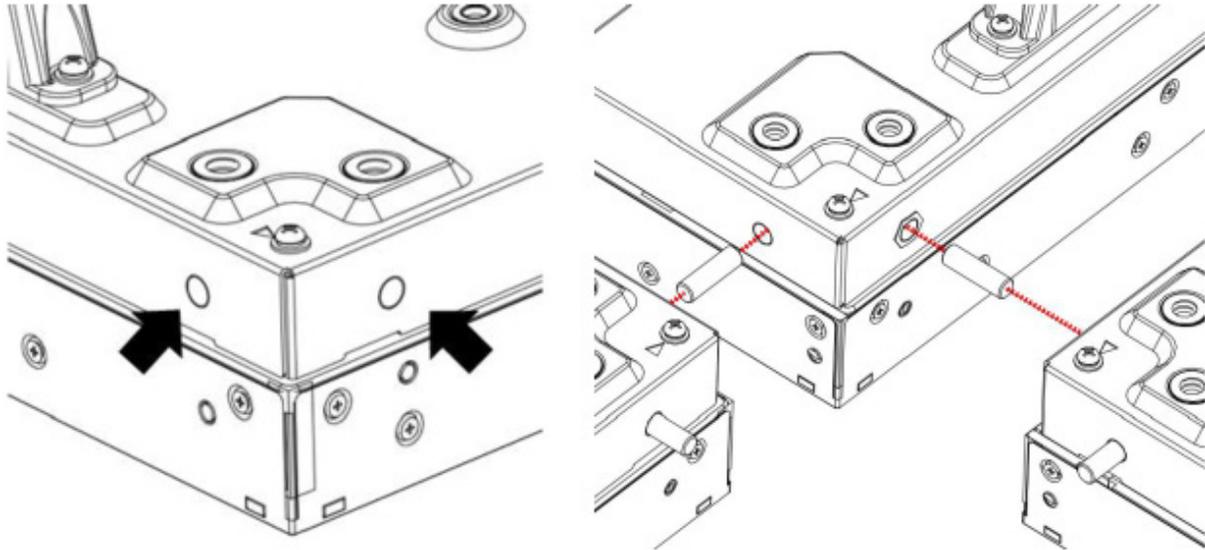


- ・ 2 台のディスプレイを隣接させる場合は、「エッジアラインメントキット 2」をご使用ください。



1.6.2. エッジアラインメントピンを取り付ける

- ・ ディスプレイを壁掛けビデオのフレームに取り付けている間、「エッジアラインメントピン」を使用して隣り合うディスプレイの平面度を固定します。
- ・ エッジアラインメントピンがパネルの側面に触れないようにしてください。パネルは間違った取り付けにより損傷を受けます。
- ・ 隣接するディスプレイで、「エッジアラインメントピン」を使用します。

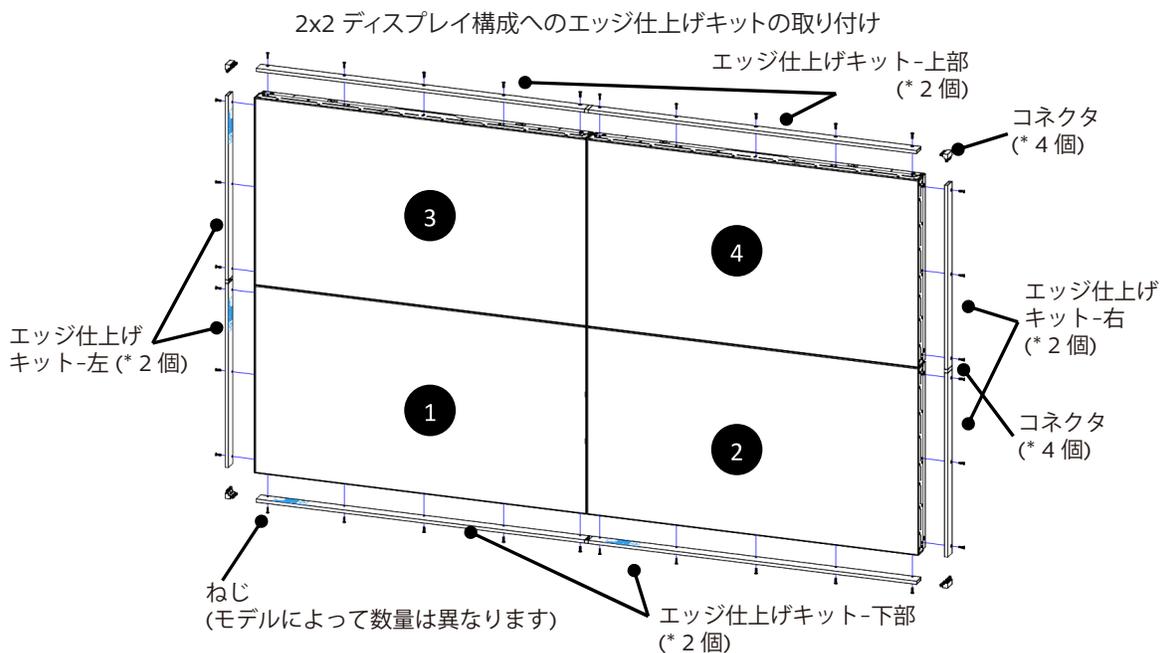
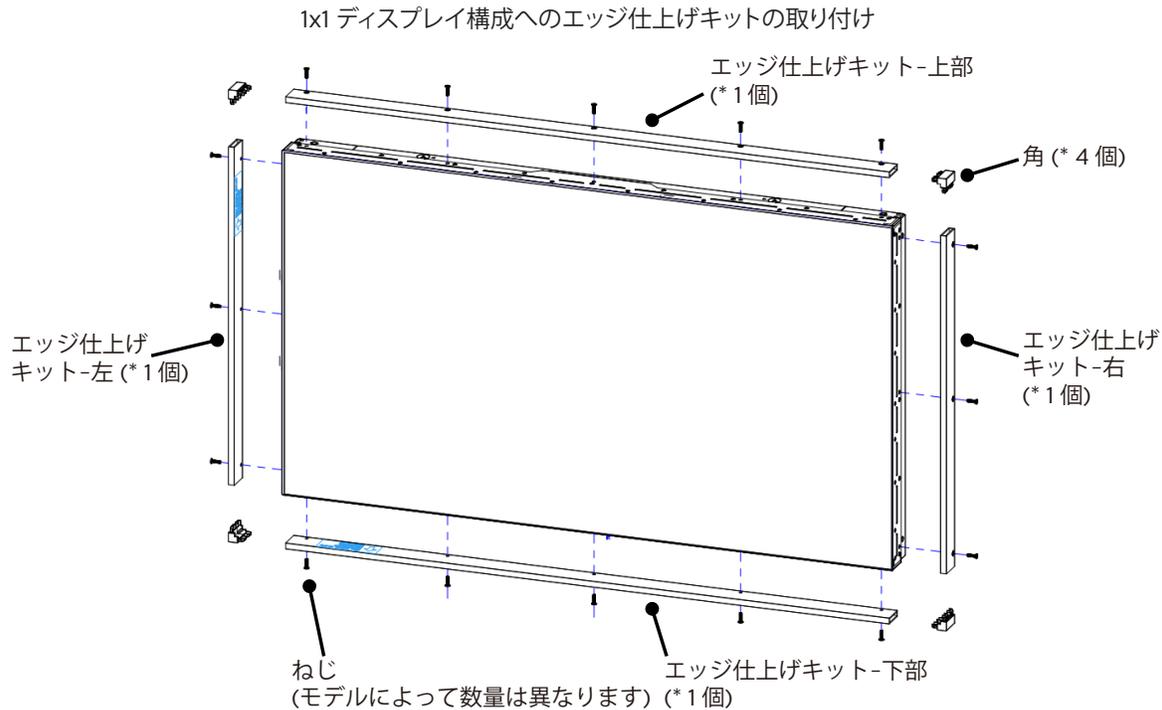


注記：ディスプレイの4つのコーナーには、エッジアラインメントピンを差し込むために設計された8つの穴があります。

1.7. エッジ仕上げキットの使用（オプション）

ディスプレイを保護して外観を良くするために、エッジ仕上げキットを使用できます。

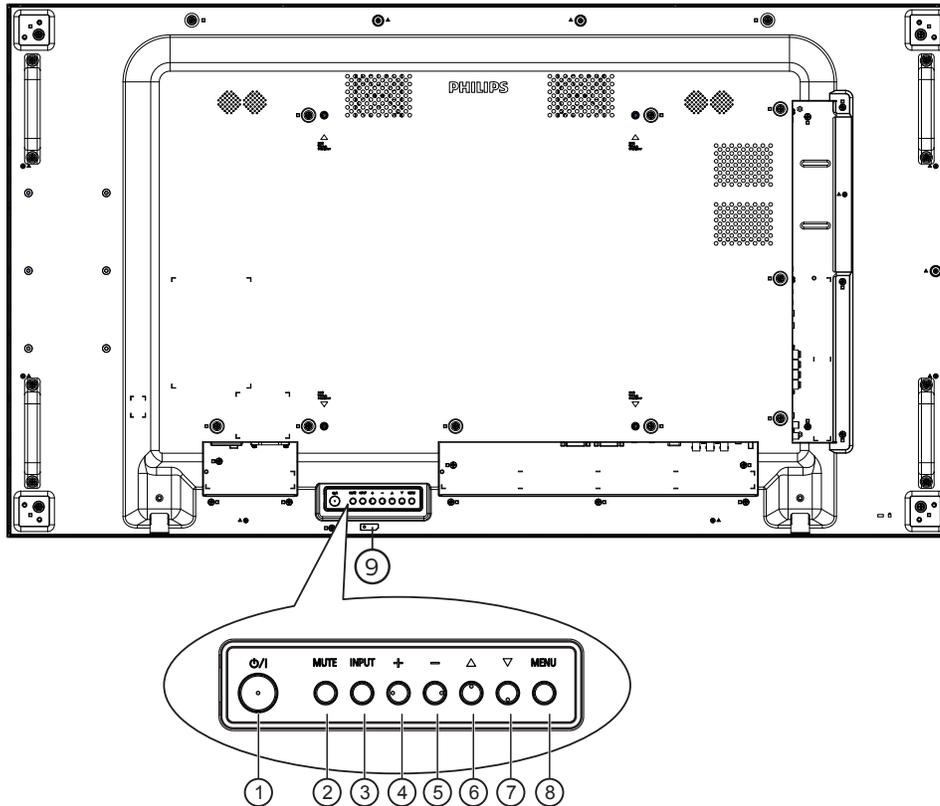
1.7.1. エッジ仕上げキットを取り付ける



* 詳細については、キットのパッケージに付属する取り付けガイドを確認してください。

2. 各部の機能

2.1. コントロールパネル



① [⏻] ボタン

このボタンを押して、ディスプレイの電源を入れたり、ディスプレイをスタンバイモードにします。

② [消音] ボタン

このボタンを押して、音声を消音したり、音声を復元したりします。

③ [入力] ボタン

入力ソースを選択します。
OSD メニューで選択を確認します。

④ [+] ボタン

OSD メニューがオンのときには調整を上げ、OSD メニューがオフのときには、音声出力レベルを上げます。

⑤ [-] ボタン

OSD メニューがオンのときには調整を下げ、OSD メニューがオフのときには音声出力レベルを下げます。

⑥ [▲] ボタン

OSD メニューがオンのときには選択した項目のレベルを1つ上げます。

⑦ [▼] ボタン

OSD メニューがオンのときには選択した項目のレベルを1つ下げます。

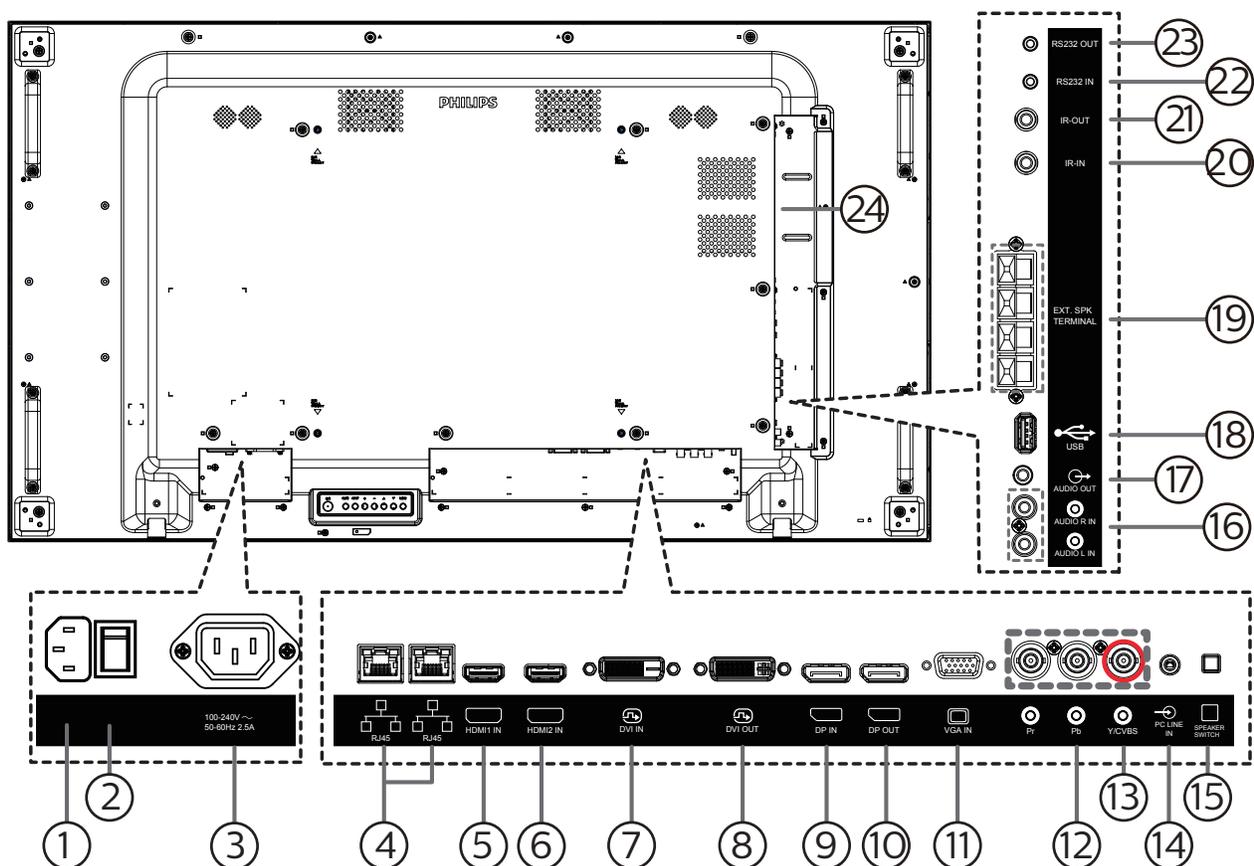
⑧ [メニュー] ボタン

OSD メニューのときには前のメニューに戻ります。また、このボタンは、OSD メニューがオフのときに OSD メニューを有効にするために使用されます。

⑨ リモコンセンサーと電源ステータスインジケータ

- ・ リモコンからの指令信号を受信します。
- ・ OPS のない本ディスプレイの動作ステータスを表示します：
 - 本ディスプレイの電源がオンのとき緑色点灯する
 - 本ディスプレイがスタンバイモードのとき赤色点灯する
 - ディスプレイが APM モードに入ると、琥珀色点灯する
 - {スケジュール} が有効の場合は緑と赤色に点滅する
 - 赤色点滅の場合は故障の検出を示す
 - 本ディスプレイの主電源がオフの場合消灯する

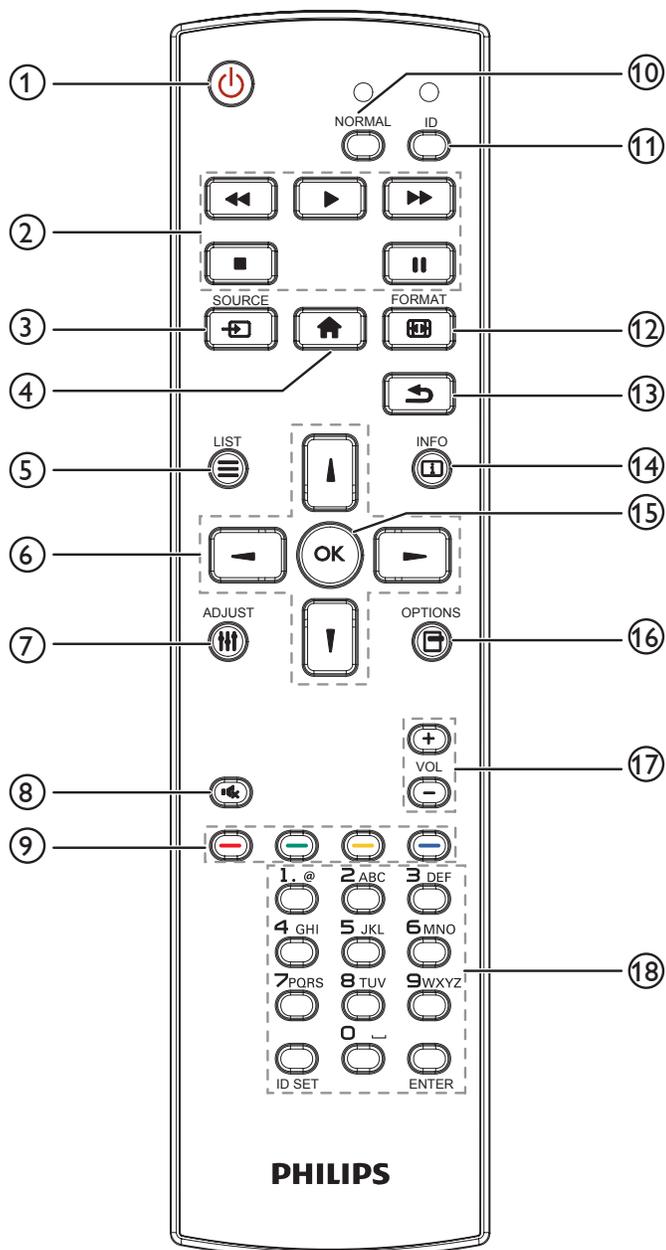
2.2. 入力 / 出力端子



- ① **AC 入力**
壁コンセントからの AC 電源入力。
- ② **主電源スイッチ**
主電源のオン / オフを切り替えます。
- ③ **AC 出力**
メディアプレーヤーの AC 入力ジャックに AC 電力を供給します。
- ④ **RJ-45 入力 / 出力**
コントロールセンターからリモコン信号を使用するための LAN 制御機能です。
- ⑤ **HDMI1 入力 / ⑥ HDMI2 入力**
HDMI ビデオ / 音声入力。
- ⑦ **DVI 入力**
DVI-D ビデオ入力。
- ⑧ **DVI 出力**
DVI または VGA ビデオ出力。
- ⑨ **DisplayPort 入力 / ⑩ DisplayPort 出力**
DisplayPort ビデオ入力 / 出力。
- ⑪ **VGA 入力 (D-Sub)**
VGA ビデオ入力。
- ⑫ **コンポーネント入力 (BNC)**
コンポーネント YPbPr ビデオソース入力。
- ⑬ **Y/CVBS**
ビデオソース入力。
- ⑭ **PC ライン入力**
VGA ソース用の音声入力 (3.5mm ステレオ電話)。
- ⑮ **スピーカースイッチ**
内部スピーカーオン / オフスイッチ。
- ⑯ **音声入力**
内部 AV デバイスからの音声入力 (RCA)。
- ⑰ **音声出力**
外部 AV デバイスへの音声出力。
- ⑱ **USB ポート**
USB ストレージデバイスを接続します。
- ⑲ **スピーカー出力**
外部スピーカーへの音声出力。
- ⑳ **IR 入力 / ㉑ IR 出力**
ループスルー機能向けの IR 信号入力 / 出力。
- メモ:
- ・ ジャック [IR 入力] が接続されている場合、本ディスプレイのリモコンセンサーは機能を停止します。
 - ・ 本ディスプレイを使ってお持ちの A/V デバイスをリモート操作するには、16 ページまたは IR パススルー接続を参照してください。
- ㉒ **RS232 入力 / ㉓ RS232 出力**
ループスルー機能向けの RS232 ネットワーク入力 / 出力。
- ㉔ **OPS スロット**
オプションの OPS モジュールを取り付けるためのスロット。

2.3. リモコン

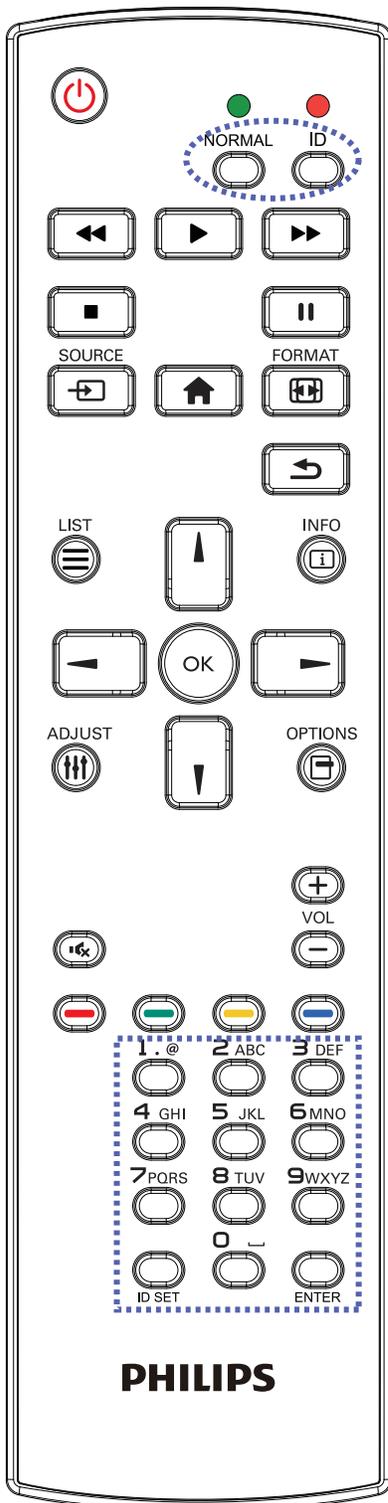
2.3.1. 一般の機能



- ① **[電源] 電源ボタン**
ディスプレイをオンにしたり、スタンバイモードにします。
- ② **[プレー] ボタン**
メディアファイルの再生を操作します。
- ③ **[ソース] ソース ボタン**
入力ソースを選択します。[↑]または[↓] ボタンを押して **USB、ネットワーク、HDMI 1、HDMI 2、DisplayPort、Card OPS、DVI-D、YPbPr、AV** および **VGA** を選択します。[OK] ボタンを押して確認し、終了します。
- ④ **[ホーム] ホームボタン**
OSD メニューにアクセスします。
- ⑤ **[リスト] リストボタン**
予約済み。
- ⑥ **[↑][↓][←][→] ナビゲーションボタン**
メニューを移動して項目を選択します。
- ⑦ **[調整] 調整ボタン**
現在選択可能なオプションを操作します。画像および音声メニュー用。
- ⑧ **[消音] 消音ボタン**
消音機能をオン/オフで切り換えます。
- ⑨ **[色] 色ボタン**
タスクやオプションを選択します。
- ⑩ **[ノーマル] ボタン**
ノーマルモードに切り替えます。
- ⑪ **[ID] ボタン**
ID モードに切り替えます。
- ⑫ **[形式] 形式ボタン**
ズームモードを変更します。
- ⑬ **[戻る] 戻るボタン**
以前に選択したメニューに戻る、または以前の機能を終了します。
- ⑭ **[情報] 情報ボタン**
現在実行しているアクティビティの情報を表示します。
- ⑮ **[OK] ボタン**
入力または選択を確定します。
- ⑯ **[オプション] オプションボタン**
現在選択可能なオプションを操作します。画像および音声メニュー用。
- ⑰ **[−][+] 音量ボタン**
音量レベルを上下します。
- ⑱ **[NUMERIC] ボタン**
ネットワーク設定にテキストを入力します。ID モードの ID を設定します。

2.3.2. リモコン ID

複数のディスプレイでこのリモコンを使用する場合、リモコン用 ID を設定します。



[ID] ボタンを押してください。赤い LED が 2 回点滅します。

1. ID モードに移行するためには、[ID 設定] ボタンを 1 秒以上押してください。赤い LED が点灯します。
[ID 設定] ボタンを再度押すと、ID モードを終了します。赤い LED が消えます。

[0] ~ [9] の数字を押して、コントロールしたいディスプレイを選択します。

例：ディスプレイ番号 1 では [0] と [1]、ディスプレイ番号 11 では [1] と [1] を押してください。

使用できる番号は [01] ~ [255] です。

2. 10 秒以内にどれかのボタンを押さないと、ID モードを終了します。
3. 間違ったボタンを押した場合には、赤い LED が消えて再度点灯してから 1 秒間待って、正しい数字を押してください。
4. [入力] ボタンを押して、承認してください。赤い LED が 2 回点滅して、消えます。

注記：

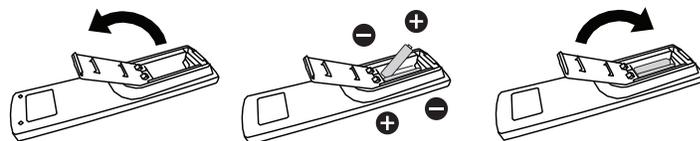
- ・ [NORMAL (ノーマル)] ボタンを押してください。緑の LED が 2 回点滅して、ディスプレイが正常に作動していることを示します。
- ・ ID 番号を選択する前に、それぞれのディスプレイで ID 番号を設定する必要があります。
- ・ リモコンの「|||」(一時停止) キーを使用して、画面をフリーズします。リモコンの「▶」(再生) キーを使用して、画面をフリーズ解除します。
- ・ 「フリーズ」機能は、VGA、AV、YPbPr、HDMI、DVI、DP などの「現実」のビデオソース：にのみ適応できます。
- ・ リモコンでの操作またはビデオモードの変更により、画面がフリーズ解除されます。

2.3.3. リモコンに乾電池を挿入する

リモコンは 2 本の 1.5V 単 4 乾電池で作動します。

乾電池を取り付ける、または交換する：

1. カバーを押してスライドさせ、開いてください。
2. 正しい極性 (+) と (-) で乾電池を挿入してください。
3. カバーを閉じてください。



注意：

乾電池を誤って使用すると、液漏れまたは爆発を引き起こす可能性があります。以下の指示に必ず従ってください：

- ・ 正しい極性 (+ と -) で単 4 乾電池を挿入してください。
- ・ 違う種類の乾電池を一緒にして使用しないでください。
- ・ 使用済みの乾電池と新しい乾電池を一緒で使用しないでください。そうしないと、液漏れが発生したり、乾電池の寿命が短くなったりする可能性があります。
- ・ 切れた乾電池は乾電池収納部に液漏れする原因となるため、直ちに取り出してください。皮膚が負傷する可能性があるため、乾電池の漏れた酸に触れないでください。

注記： 長期間使用しない場合は、乾電池収納部から乾電池を取り外してください。

2.3.4. リモコンの取り扱い

- ・ リモコンを落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。
- ・ リモコンの内部に液体が入らないようにしてください。リモコンに水が入った場合は、乾いた布で直ちに拭いてください。
- ・ 熱や蒸気を発生するものの近くに、リモコンを置かないでください。
- ・ リモコンの乾電池を交換する以外の場合、リモコンを分解しようとししないでください。

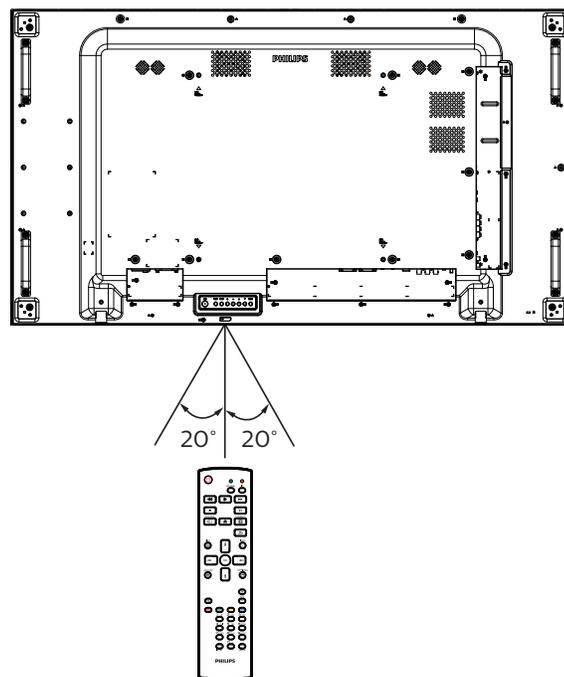
2.3.5. リモコンの動作範囲

ディスプレイのリモコンセンサーにリモコンを向けてください。

ディスプレイのリモコンセンサーから 5 m、左右 20 度の範囲内でリモコンを使用してください。

注記：

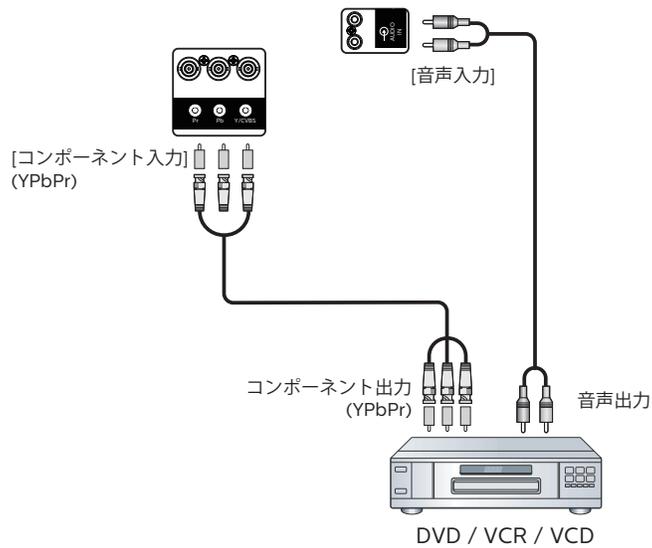
- ・ ディスプレイのリモコンセンサーが直射日光や強い照明浴びていたり、障害物が信号伝達を妨害したりする場合、リモコンが適切に作動しないことがあります。
- ・ リモコンをより良く機能させるために、IR センサーケーブルをご使用ください。詳細については 3.5. IR 接続を参照してください。



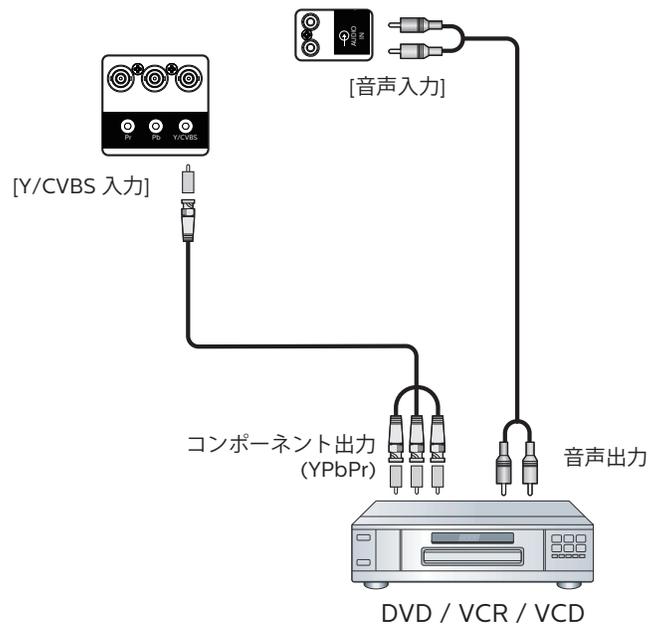
3. 外部機器を接続する

3.1. 外部機器 (DVD/VCR/VCD) の接続

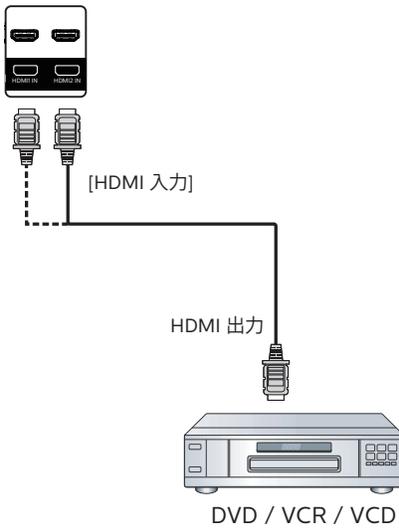
3.1.1. コンポーネントビデオ入力の使用



3.1.2. ビデオソース入力の使用

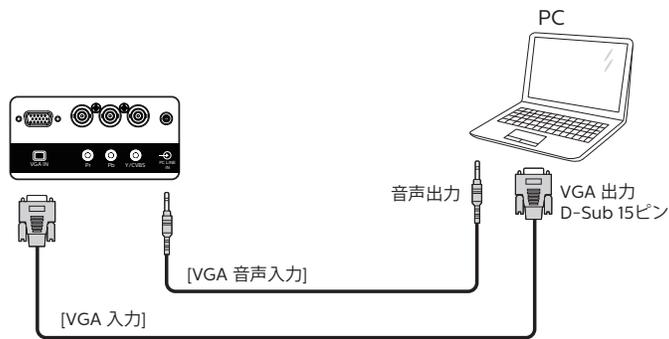


3.1.3. HDMI ビデオ入力の使用

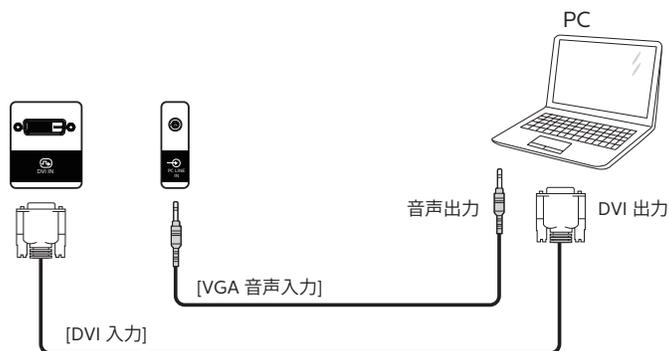


3.2. PC の接続

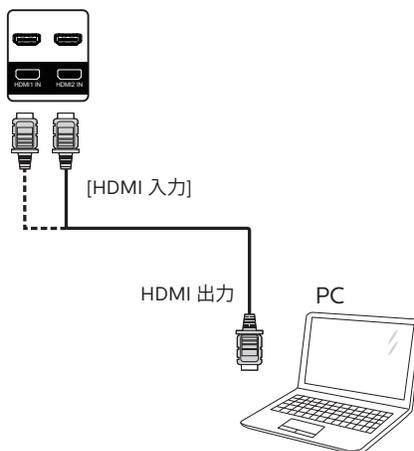
3.2.1. VGA 入力の使用



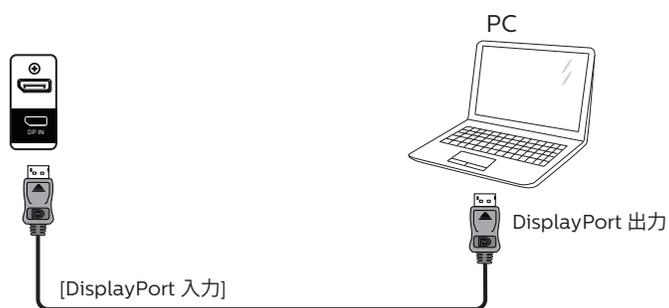
3.2.2. DVI 入力の使用



3.2.3. HDMI 入力の使用

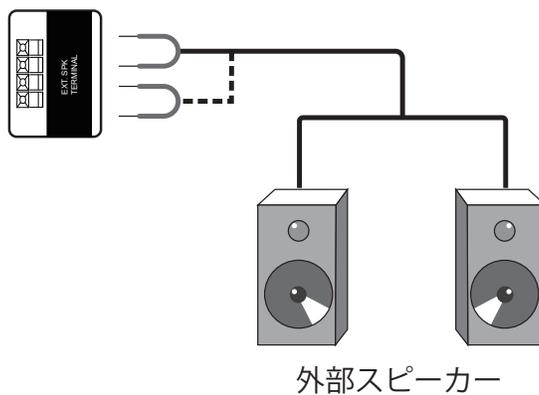


3.2.4. DisplayPort 入力の使用



3.3. オーディオ機器の接続

3.3.1. 外部スピーカーの接続

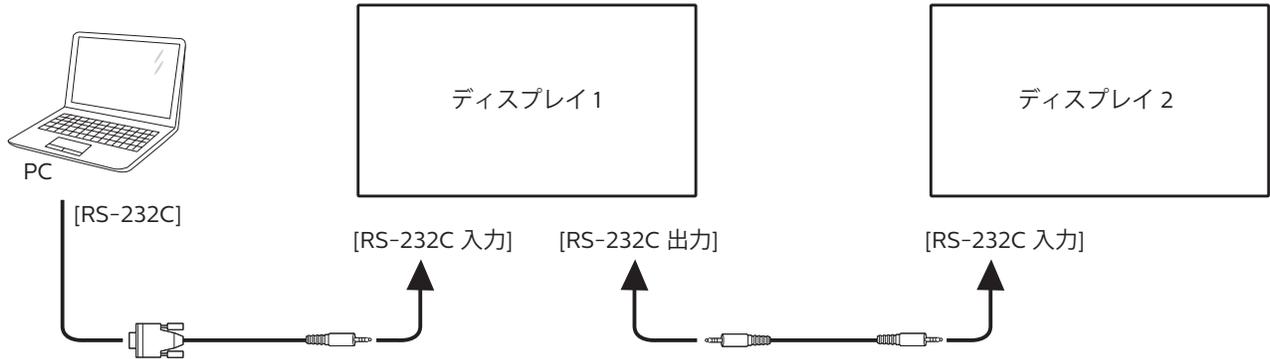


3.4. デイジーチェーン構成で複数のディスプレイを接続する

複数のディスプレイを相互接続し、メニューボードなどの用途向けに、デイジーチェーン構成を作成することが可能です。

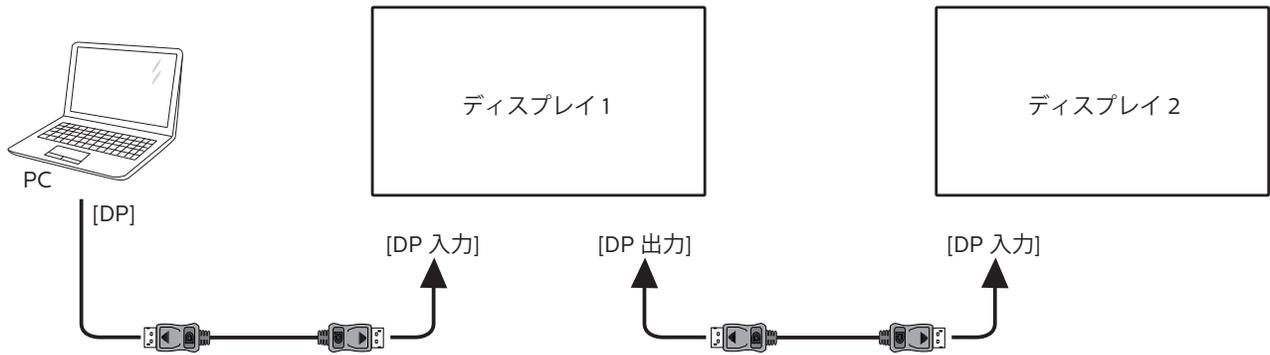
3.4.1. ディスプレイコントロール接続

ディスプレイ1の [RS232C 出力] コネクタを、ディスプレイ2の [RS232C 入力] コネクタに接続します。

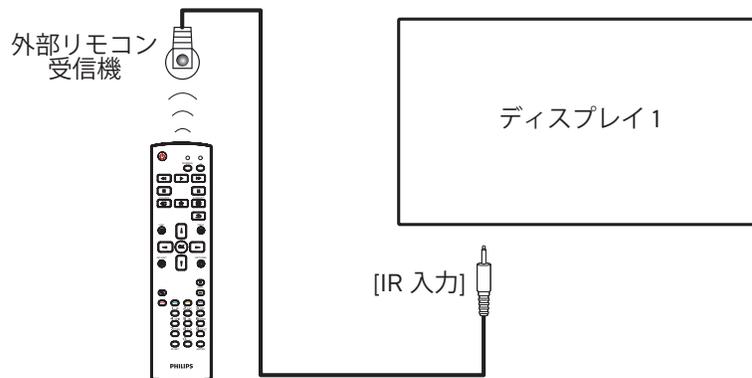


3.4.2. デジタルビデオ接続

ディスプレイ1の [DP 出力] コネクタを、ディスプレイ2の [DP 入力] コネクタに接続します。



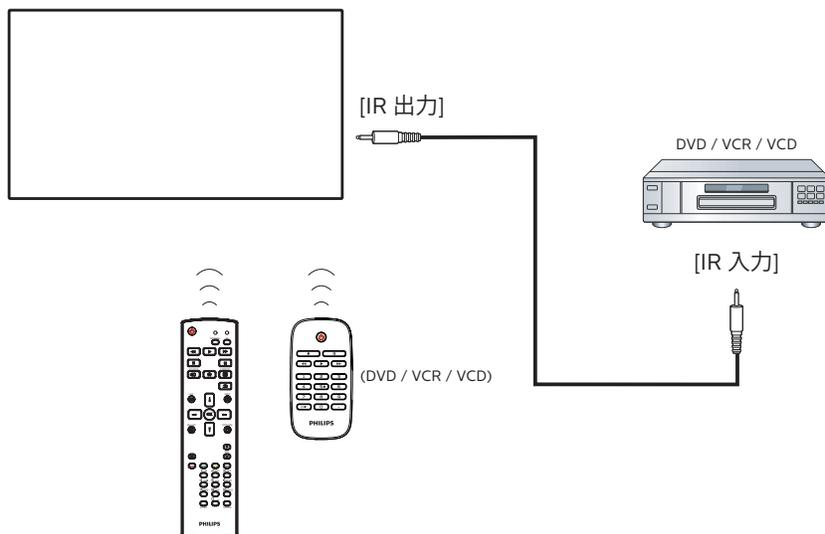
3.5. IR 接続



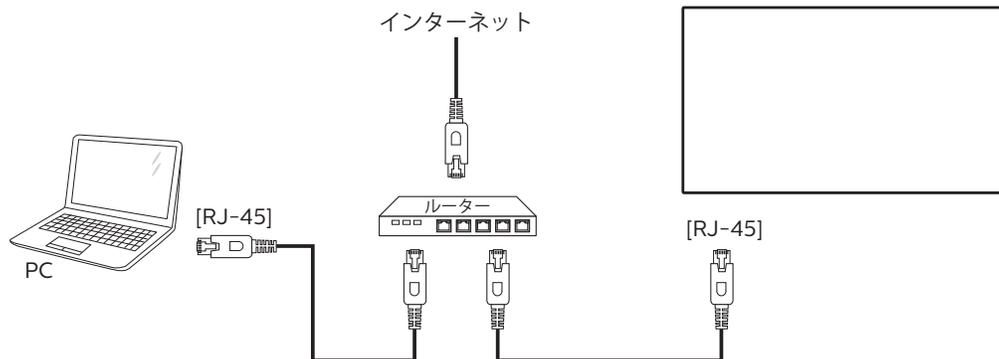
注記:

[IR 入力] が接続されている場合、本ディスプレイのリモコンセンサーは動作を停止します。

3.6. IR パススルー接続



3.7. ケーブルを使ったネットワーク接続



ネットワーク設定：

1. ルーターの電源を入れ、DHCP 設定を有効にします。
 2. イーサネットケーブルを使って、ルーターを本ディスプレイに接続します。
 3. リモコンの [▲] ホーム ボタンを押した後に、**セットアップ** を選択します。
 4. **ネットワークに接続する** を選択して、[OK] ボタンを押します。
 5. 本ディスプレイがネットワーク接続を検出するまで待ちます。
 6. [エンドユーザーライセンス同意書] ウィンドウが表示されたら、同意書を受け入れてください。
- 注記： EMC 指令に準拠するため、シールドされた CAT-5 イーサネットケーブルを使って接続してください。

4. 取り扱い

注記：この章で説明されている操作ボタンは、特に記述のない限りリモコン上にあるボタンを指します。

4.1. 接続されたビデオソースから鑑賞する

外部機器の接続に関しては、12 ページを参照してください。

1. [] ソースボタンを押します。
2. [▲] または [▼] ボタンを押してデバイスを選択し、[OK] ボタンを押します。

4.2. 画像フォーマットを変更する

ビデオソースに合わせて画像フォーマットを変更することができます。それぞれのビデオソースに対して、使用可能な画像フォーマットがあります。

使用可能な画像フォーマットはビデオソースによって異なります。

1. [] 形式 ボタンを押します。
2. [▲] または [▼] ボタンを押して画像フォーマットを選択し、[OK] ボタンを押します。
 - ・ {オートズーム}: 画面いっぱいに拡大します。画面の歪を最小限にするために、[オートズーム] を選択してください。このオプションは、HD ディスプレイおよび PC にはご利用できません。
 - ・ {ムービー拡張 16:9}: 4:3 形式を 16:9 形式に調整します。HD または PC にはご利用できません。
 - ・ {ワイド}: ワイド形式を、コンテンツを拡大せずに表示します。HD または PC にはご利用できません。
 - ・ {未スケーリング}: PC 画像の細部が最大限に表示されます。このオプションは、{画像} メニューで PC モードを選択したときのみ使用できます。
 - ・ {4:3}: 従来の 4:3 形式で表示します。
 - ・ {Custom zoom}: 画像とエッジのサブメニューから選択したカスタマイズされたズーム設定を適用します。

4.3. ローカルエリアネットワークを経由してマルチメディアファイルを再生する

ローカルエリアネットワークを経由してファイルを再生するには、以下が必要です。

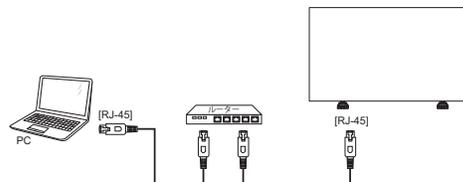
- ・ ホームネットワーク接続。ユニバーサルプラグアンドプレイ (uPnP) 対応ルーターに接続します。
- ・ オプション: 本ディスプレイをホームネットワークに接続するための LAN ケーブル。
- ・ コンピュータで稼働するメディアサーバー。
- ・ メディアサーバーを実行可能にするコンピュータのファイアウォール設定の適用。

4.3.1. ネットワーク設定

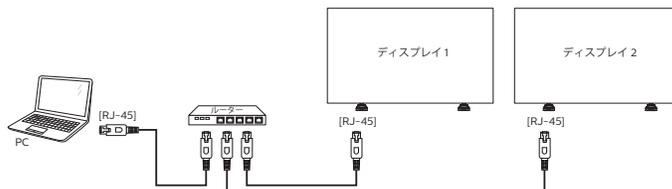
1. 本ディスプレイとコンピュータを同じホームネットワークに接続します。以下の接続図をご参照ください。

2. PC とルーターに電源を入れます。

- ・ 単一ディスプレイの設定



- ・ 複数ディスプレイでの設定



注記：外部からの電氣的妨害（例：静電放電）により本ディスプレイが DLNA モードに戻らない場合は、ご自身で戻して頂く必要があります。

メディア共有を設定する

1. メディアファイルを共有するため、コンピュータにメディアサーバーをインストールします。以下はメディアサーバーの一例です。
 - ・ PC の場合: Windows Media Player 11 (またはそれ以上) および TVersionity
 - ・ Mac の場合: Twonky
2. メディアサーバーを使って、コンピュータ上のメディア共有を有効にします。メディアサーバーの詳細な設定方法については、メディアサーバー元のサイトを参照して下さい。

4.3.2. DLNA-DMP の使い方

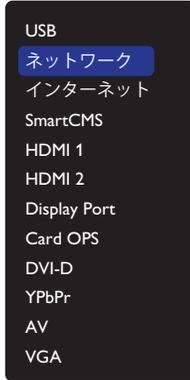
ネットワークに接続していることを確認します。

[i] ボタンを押し、ネットワークの接続を表示できます。

HDMI 1 1080p60		26/09/2014 Friday 09:32:00
画像フォーマット	ワイド	
画像スタイル	標準	
音声スタイル	パーソナル	
スマートパワー	オフ	
音量	0	
モニタグループ	1	
モニター ID	1	
モード名	xxxxxxxx	
SW バージョン	1.51	
シリアル番号		
温度	25°C	
ネットワーク設定	DHCP および自動 IP	
IP アドレス	192.168.1.116	
ネットマスク	255.255.255.0	
ゲートウェイ	192.168.1.1	
ネットワーク名	xxxxxxxx	
MAC アドレスを入力する	FF:FF:FF:FF:FF:FF	

画面上でファイルを再生する

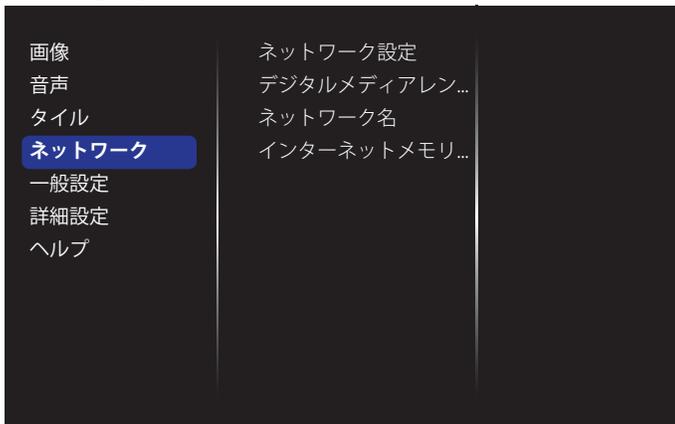
1. [] [ソース] ボタンを押して、[ネットワーク] を選択し [OK] ボタンを押します。



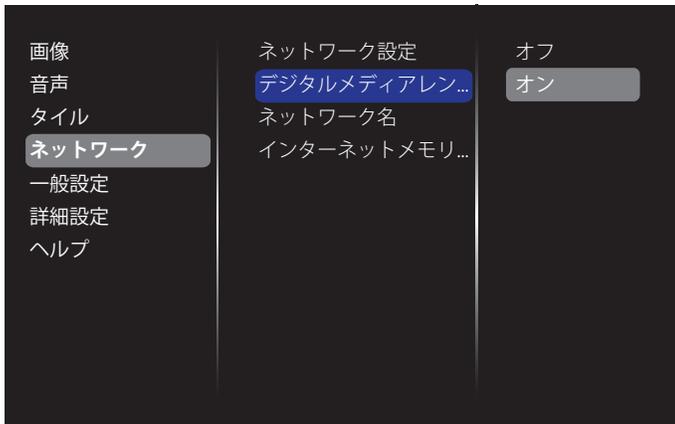
2. 同じルーターにすべての PC が接続されたので、正しい PC を選択してください。
3. [↑] と [→] を押して再生するディレクトリとファイルを選択します。
4. 同じ PC に最大 4 台までのディスプレイを接続して、同じメディアストリームを再生することができます。

4.3.3. PC から DLNA-DMR を使うには

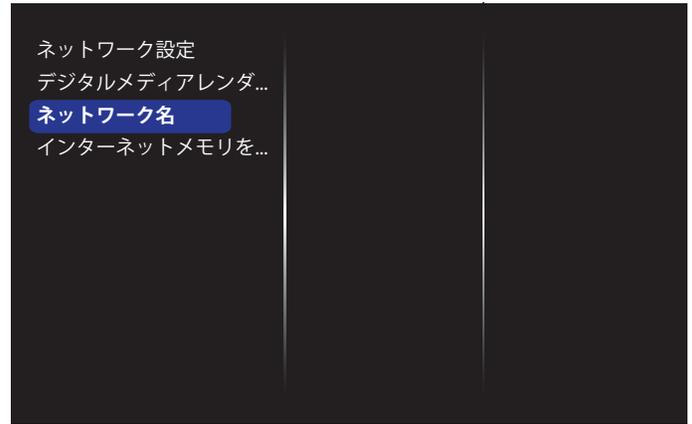
1. [] ホームボタンを押して、ネットワークを選択し [OK] ボタンを押します。



2. デジタルメディアレンダラ - DMR をオンに設定します。



3. ディスプレイの名前を設定します。



4. [] ホームボタンを押して、[] ソースボタンを押します。次に、ネットワークを選択して [OK] ボタンを押します。
5. PC 上でネットワークと共有センターを開いてホームグループと共有に関するオプションの選択をクリックします。
6. メディア形式を確認します。Choose media streaming options.... をクリックします。
7. 共有の詳細設定を開き、ネットワーク探索を有効にするを選択します。
8. メディアファイルのディレクトリに移動し、右クリックして、メディアファイルを選択します。リモート再生のサブメニューに、ネットワークに接続されているすべてのディスプレイが表示されます。ディスプレイを選択して、再生するメディアファイルを選択します。

ファイルを再生する

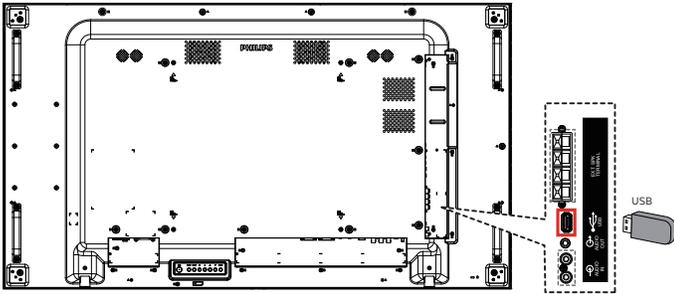
1. [] ソースボタンを押します。
2. ネットワークを選択して [OK] ボタンを押します。
3. コンテンツブラウザからファイルを選択し、[OK] ボタンを押して再生します。
4. 再生を操作するには、リモコン上にある [再生] ボタンを押します。

ヒント:

- ファイルの種類でファイルを絞り込むには、トッパーを選択します。
- Sort を選んで、アルバム名やアーティスト名、その他のフィールド毎に並び替えます。
- 接続されていないメディアサーバーを非表示にするには、[] オプションボタンを押します。その後、Clear offline servers を選択して [OK] ボタンを押します。

4.4. USB デバイスのマルチメディア ファイルを再生する

1. 本ディスプレイの USB ポートに USB デバイスを接続します。



2. [] ソースボタンを押して、**USB** を選択し [OK] ボタンを押します。



3. 接続されている USB デバイスが自動的に検出され、中にある再生可能なすべてのファイルが 3 つのタイプに自動的に分けられます。🎵 **音楽**、🎬 **ムービー**、そして📷 **写真**です。
4. 画面の最上層に戻るには、[] 戻るボタンを押します。ファイルのタイプを選択するには [] または [] ボタンを押します。再生リストを表示するには [OK] ボタンを押します。
5. 目的のファイルを選択します。再生するには [OK] ボタンを押します。
6. 画面上の説明に従って再生オプションを操作します。
7. [再生] ボタン ([] || ◀ ▶) を押して再生を操作します。

4.5. 再生オプション

4.5.1. 音楽ファイルの再生

1. トップバーの🎵 **音楽** を選択します。



2. 曲を一曲選択して [OK] ボタンを押します。
 - フォルダー内にあるすべての曲を再生するには、音楽ファイルをひとつ選択します。その後 [] を押して **Play All** を実行します。
 - 次の曲や前の曲をスキップするには、[] または [] ボタンを押します。
 - 曲を一時停止するには [OK] ボタンを押します。再生を再開するには、もう一度 [OK] ボタンを押します。
 - 前後に 10 秒間スキップするには [] または [] ボタンを押します。

- 順方向や逆方向に検索するには、[◀◀] または [▶▶] ボタンを押します。異なる速度でトグルするには繰り返して押し続けます。
- 音楽を停止するには [] ボタンを押します。

音楽オプション

音楽の再生中に [] オプションボタンを押し、その後 [OK] ボタンを押してオプションを選択します。

- {Shuffle (シャッフル)}: 曲はランダムに再生されます。
- {Repeat (リピート)}: 曲またはアルバムを繰り返して再生するには {Repeat (リピート)} を選択し、一回のみ再生するには {Play once (一度再生)} を選択します。

注記: 曲の情報 (例: 曲名、アーティスト名、長さ) を表示するには、曲を選択して [i] 情報ボタンを押します。情報を非表示にするには、もう一度 [i] 情報ボタンを押します。

4.5.2. ムービーファイルの再生

1. トップバーの🎬 **ムービー** を選択します。



2. 動画を選択して [OK] ボタンを押します。
 - フォルダー内にあるすべての動画を再生するには、動画ファイルをひとつ選択します。その後 [] を押して **Play All** を実行します。
 - 動画を一時停止するには [OK] ボタンを押します。再生を再開するには、もう一度 [OK] ボタンを押します。
 - 前後に 10 秒間スキップするには [] または [] ボタンを押します。
 - 順方向や逆方向に検索するには、[◀◀] または [▶▶] ボタンを押します。異なる速度でトグルするには繰り返して押し続けます。
 - 動画を停止するには [] ボタンを押します。

ムービーオプション

動画の再生中に [] オプションボタンを押し、その後 [OK] ボタンを押してオプションを選択します。

- {字幕}: 使用可能な字幕設定を選択します。
- {字幕言語}: 可能な場合、字幕の言語を選択します。
- {Shuffle (シャッフル)}: ビデオはランダムに再生されます。
- {Repeat (リピート)}: 動画ファイルを繰り返して再生するには {Repeat (リピート)} を選択し、動画ファイルを一回のみ再生するには {Play once (一度再生)} を選択します。
- {ステータス}: 動画の情報 (例: 再生位置、長さ、タイトル、日付) を表示するには。

4.5.3. 写真ファイルの再生

1. トップバーの  写真を選択します。



2. サムネイル表示された写真を選んで [OK] ボタンを押します。

スライドショーを開始する

フォルダーに写真が複数ある場合は、写真を一枚選択します。その後 [] を押して **Play All** を実行します。

- 前後の写真をスキップするには [] または [] ボタンを押してから [OK] ボタンを押します。
- スライドショーを停止するには [] ボタンを押します。

スライドショー オプション

スライドショー の再生中に [] オプションボタンを押し、その後 [OK] ボタンを押してオプションを選択します。

- **{Shuffle (シャッフル)}**: 画像はランダムに再生されます。
- **{Repeat (リピート)}**: スライドショーを繰り返し鑑賞するには **{Repeat (リピート)}** を選択し、一回だけ鑑賞するには **{Play once (一度再生)}** を選択します。
- **{Slideshow Time (スライドショー時間)}**: スライドショーで表示する写真の表示時間を選びます。
- **{Slideshow Transitions (スライドショートランジション)}**: 次の写真に変わるときの切り替わり方を選びます。

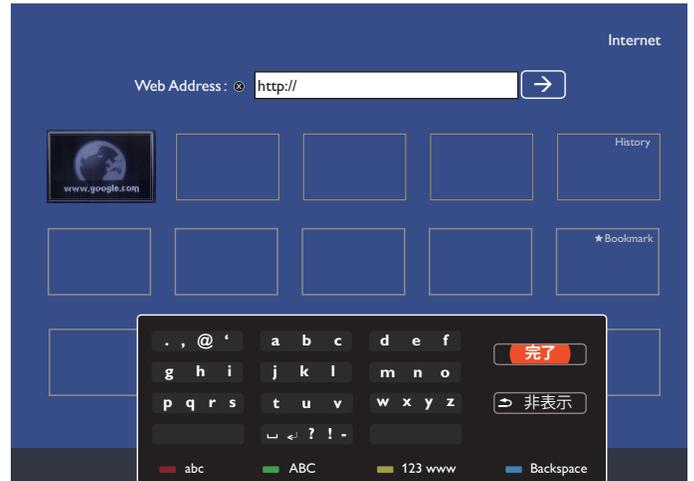
4.6. Opera ブラウザ (HTML5) の使い方

LAN ラインを確認して、ネットワークに接続されているか確認します。

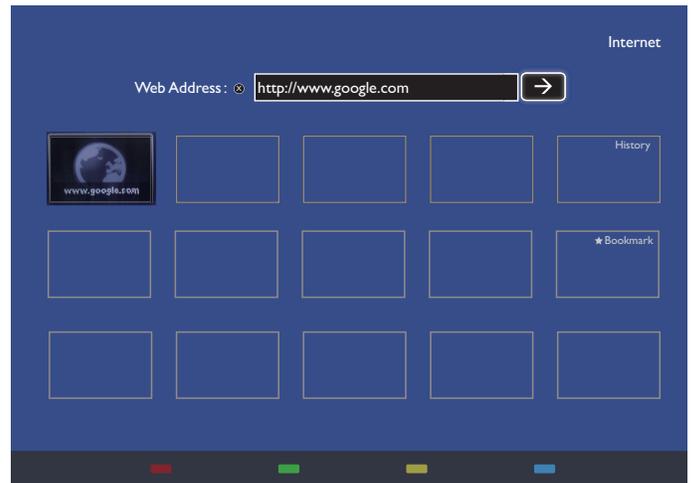
1. [] ソースボタンを押して、**インターネット**を選択し [OK] ボタンを押します。



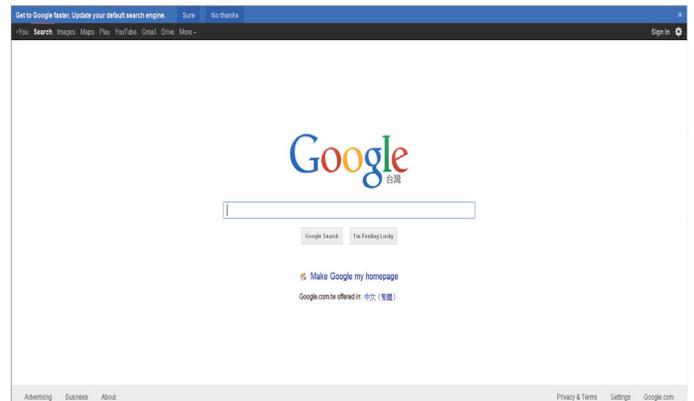
2. カーソルを URL アドレスバーまで移動させます。[OK] ボタンを押すと、オンスクリーン キーボードが表示されます。カーソルを動かして URL アドレスを入力します。URL アドレスの入力が終了したら **完了** を選びます。



3. カーソルを「」アイコンに移動して [OK] ボタンを押します。



4. 以下のように Web ページが表示されます：

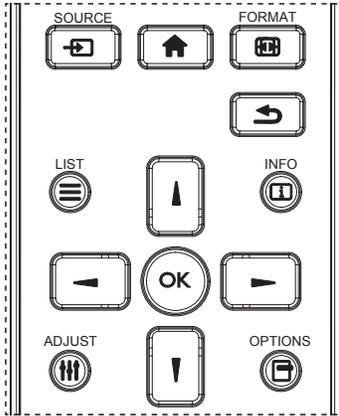


メモ：

- Opera ブラウザ は FLASH 形式に対応していません。
- ブラウザはビデオソースではありません。本ディスプレイを再起動した後、ブラウザ画面には戻りません。

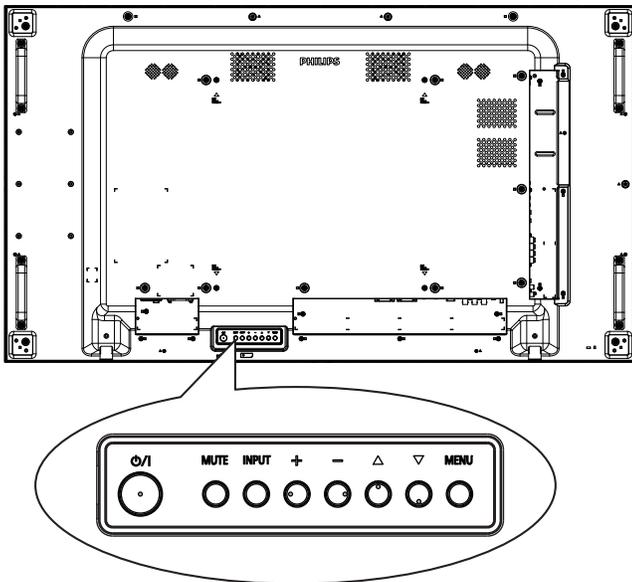
5. 設定を変更するには

リモコンを使用する



1. リモコン上の [HOME] ボタンを押して OSD メニューを表示します。
2. [▲] または [▼] ボタンを押して、調整する項目を選択します。
3. [OK] または [▶] ボタンを押してサブメニューに入ります。
4. サブメニュー内では、[▲] ボタンまたは [▼] ボタンまたは項目を切り換えて、[▶] ボタンまたは [◀] ボタンを押して設定を調整します。サブメニューがある場合には、[OK] または [▶] ボタンを押してサブメニューに入ります。
5. [◀] ボタンを押して前のメニューに戻るか、[HOME] ボタンを押して OSD メニューを終了します。

ディスプレイのコントロール ボタンを使用する

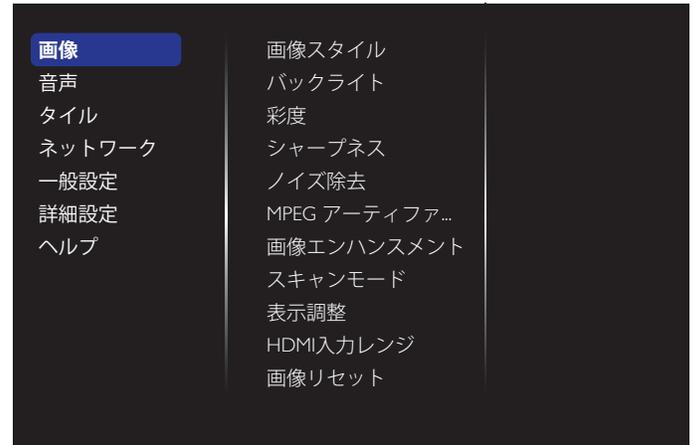


1. OSD メニューを表示するには [MENU] ボタンを押します。
2. [▲]、[▼]、[+] または [-] ボタンを押してメニュー項目を選択、または値を調整します。
3. [INPUT] ボタンを押して、選択したメニューを確定し、サブメニューに入ります。
4. OSD メニューを終了するには [MENU] ボタンを押します。

5.1. 設定

[HOME] ホームボタンを押します。

5.1.1. 画像



画像スタイル

お好みの画像設定を選びます。

バックライト

本ディスプレイのバックライトの明るさを調整します。

彩度

画像の彩度を調整します。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

ノイズ除去

画像のノイズ除去の度合いを選びます。

MPEG アーティファクト低減

デジタル画像のトランジションやぼやけを滑らかにします。

画像エンハンスメント

周囲の画素に馴染むようにすべての画素を微調整することで、鮮明で高解像度な画像を作成します。

- ・ { 高度なシャープネス }: 優れた画像シャープネスで、特に画像の線や輪郭に有効です。
- ・ { ダイナミックコントラスト }: 画像の暗いエリア、中位のエリア、明るいエリアの詳細をダイナミックに補強します。
- ・ { 色強調 }: 色彩の鮮明さと詳細をダイナミックに補強します。

詳細設定

ガンマ、色温度、映像のコントラストなどの詳細設定にアクセスします。

- ・ { ガンマ }: 画像の輝度やコントラストに関連した非線形性の設定を調整します。
- ・ { 色温度 }: カラーバランスを変更します。
- ・ { カスタム色合い }: カラーバランスの設定をカスタマイズします。{ 色温度 }、→ { カスタム } が選択されている場合のみ使用できます。
- ・ { 映像のコントラスト }: 映像のコントラストを調整します。
- ・ { 明るさ }: 画面の明るさを調整します。
- ・ { 色相 }: 画面の色相を調整します。

スキャンモード

本ディスプレイの画像領域を変更します。

表示調整

- ・ {画像フォーマット}: 画像フォーマットを変更します。
- ・ {ズーム}: 画像の縦と横のサイズを同時に拡大します。
- ・ {水平ズーム}: 画像の水平サイズのみを拡大します。
- ・ {垂直ズーム}: 画像の垂直サイズのみを拡大します。

注記: ズーム、水平ズーム、垂直ズームは画像フォーマット設定がカスタムズームに設定されているときのみ利用できます。

画像フォーマットに関する記述は 17 ページを参照してください。

HDMI 入力レンジ

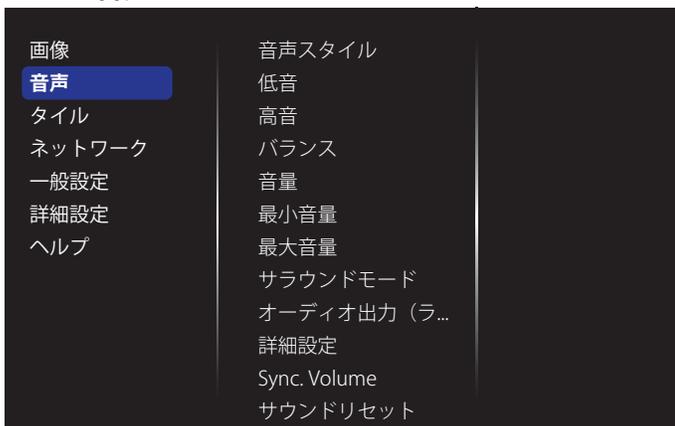
HDMI ビデオ形式の色範囲

- ・ {自動}: HDMI ビデオ形式の自動色範囲。
- ・ {リミット}: HDMI ビデオ形式の制限された色範囲。
- ・ {フル}: HDMI ビデオ形式の全範囲。

画像リセット

画像設定を工場出荷時の設定に戻します。

5.1.2. 音声



音声スタイル

お好みの音声設定にアクセスします。

低音

低音の増減を調整します。

高音

高音の増減を調整します。

バランス

左右の音声出力のバランスの強弱を調整します。

音量

音量の増減を調整します。

最小音量

最小音量を設定します。

最大音量

最大音量を設定します。

サラウンドモード

オーディオパフォーマンスのサラウンド効果を設定します。

オーディオ出力 (ライン出力)

音声出力の音量を調整します。

詳細設定

詳細設定にアクセスして視聴体験を向上させます。

- ・ {オートボリューム}: 突発的な音量変更の軽減を有効にします。
- ・ {スピーカ設定}: 内部スピーカの電源をオンまたはオフにします。
- ・ {クリアサウンド}: 音質を向上させます。
- ・ {オーディオ出力形式}: デジタル音声出力コネクタを通して、音声出力タイプを選びます。(HDMI のみ)
- ・ {オーディオ出力遅延}: ディスプレイに表示されている画像を、接続したホームシアターからの音声と自動的に同期させます。
- ・ {音声出力オフセット}: 音声出力の遅延に関する設定を調整します。{オーディオ出力遅延} が有効になっている場合に使用できます。

Sync. Volume

同期を有効または無効にします。音量機能。{オン} に設定すると、内部スピーカとライン出力の音量が同期されます。{オフ} に設定すると、内部スピーカとライン出力の音量がそれぞれ調整されます。

サウンドリセット

デフォルト設定にリセットします。

カード OPS オーディオ

OPS 音声出力形式を設定します。

オプションは次の通りです。{自動}、{アナログ}、{デジタル}

注記: Card OPS ソースが選択されているとき、OSD メニューにこのオプションが表示されます。

5.1.3. タイル



最大 100 台のディスプレイ (縦に最大 10 台、横に最大 10 台) からなる 1 つの大型画面マトリクス (ビデオウォール) を作成します。

有効

タイル機能を有効または無効にします。{オン} の場合、本ディスプレイは {水平モニター}、{垂直モニター}、{位置}、および {フレーム補正} の設定を適用します。

水平モニター

横列のディスプレイを調整します。

垂直モニター

縦列のディスプレイを調整します。

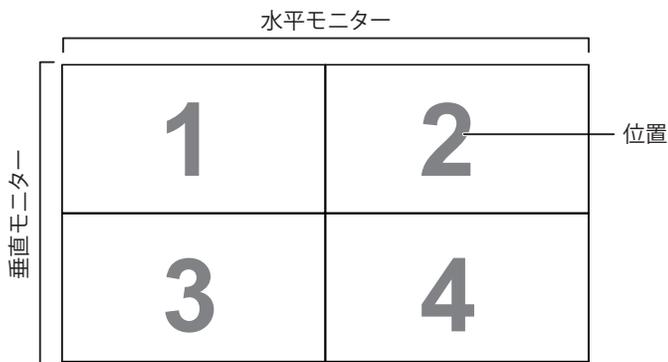
位置

画面配列でディスプレイの位置を調整します。

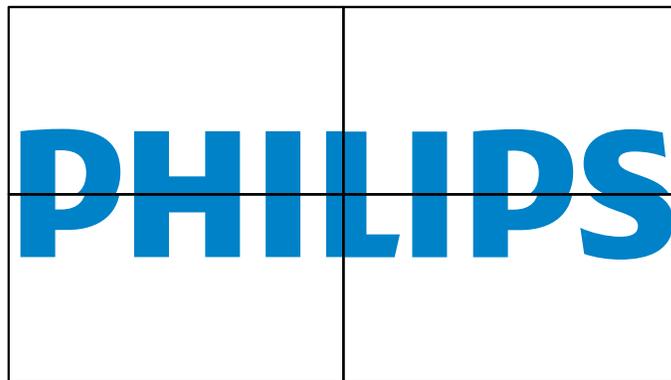
例：2 x 2 の画面マトリックス (ディスプレイ 4 台)

水平モニター = 2 ディスプレイ

垂直モニター = 2 ディスプレイ



{ オフ }



Frame comp.H

水平フレーム補正幅を調整します。

Frame comp.V

垂直フレーム補正幅を調整します。

パワーオンディレイ

複数のディスプレイを接続しているとき、電源負荷を低減するために、各ディスプレイの電源オン遅延時間 (秒単位) を調整します。

RS232 ルーティング

制御ポートを選択します。

- {RS232}: RS232 制御を選択します。
- {LAN (RJ-45)}: LAN 制御を選択します。
- {IR}

複数のディスプレイが RS232C 接続を通して接続されている場合、リモコンの動作モードを選択します。

- {リモコンモード}
- {ノーマル}

すべてのディスプレイを、リモコンで正常に動作させることができます。

- {Primary}

このディスプレイを、リモコン操作用の 1 次ディスプレイとして指定します。リモコンでは、このディスプレイのみを操作できます。

- {Secondary}

このディスプレイを 2 次ディスプレイとして指定します。このディスプレイはリモコンでは操作できず、RS232C 接続を通して 1 次ディスプレイからの制御信号のみを受信します。

- {Control Monitor-ID}

RS232C 接続経由で本ディスプレイを操作するためにリモコンモードの ID 番号を選択します。

- {Card OPS RS232}:

RS232 制御を選択します。(OPS が開始されている場合にのみ利用できます。)

例：5 x 5 の画面マトリックス (ディスプレイ 25 台)

水平モニター = 5 ディスプレイ

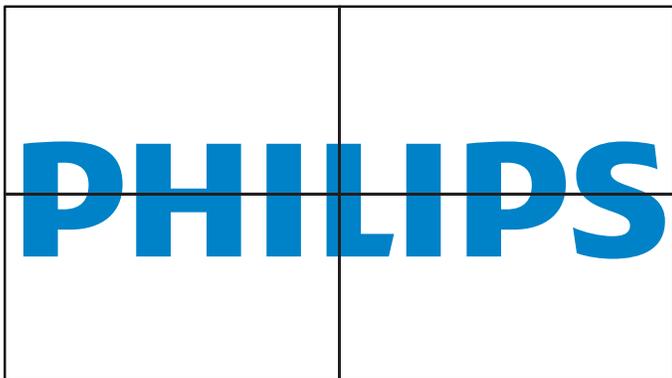
垂直モニター = 5 ディスプレイ



フレーム補正

フレーム補正機能を有効または無効にします。{ オン } を選択した場合、画像を正確に表示するためにディスプレイは画像を調整してディスプレイのベゼル幅を補正します。

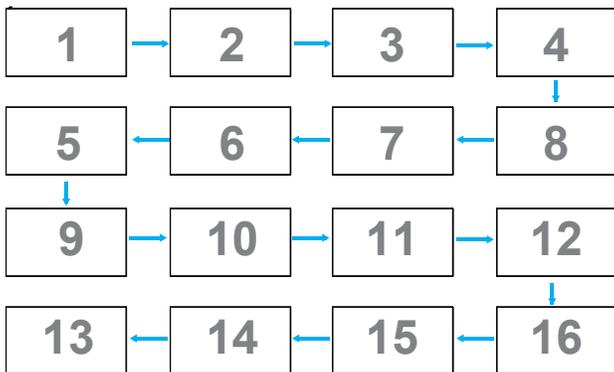
{ オン }



自動 ID

{モニター ID} 設定に従って、接続されたデバイスの {モニター ID} を設定します。

例：水平モニターを 4 に設定



注記：この機能を使用するには、すべてのマシンを RS-232 ケーブルでシリアル接続し、そのネットワーク制御ポートを RS-232 に設定します。

注記：この機能を DP 1.2 接続に使用する場合、対応する最大解像度は 1920x1080/60Hz @ 4 セットです。4Kx2K/30Hz の場合、2 セット接続にのみ対応します。

Tiling tool

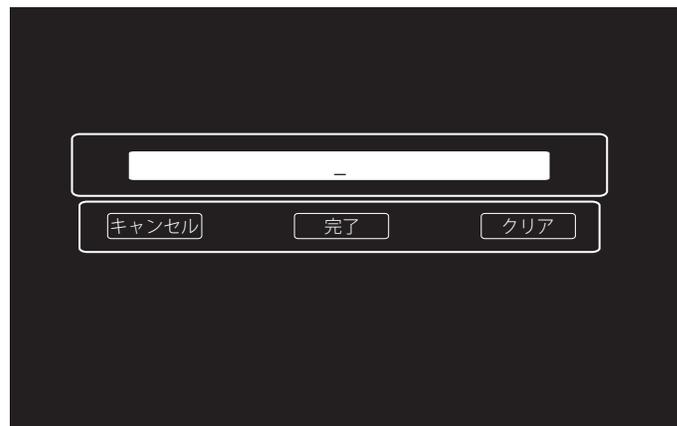
販売店から購入したシリアル番号を入力して、タイルツール機能を有効にします



(1). 有効化メニューに入ります



(2). 有効化キーを OSD に入力します



(3). [OK] ボタンを押して、オンスクリーン キーパッドを表示して、有効化キーを入力します。完了したら、[完了] を選択します。

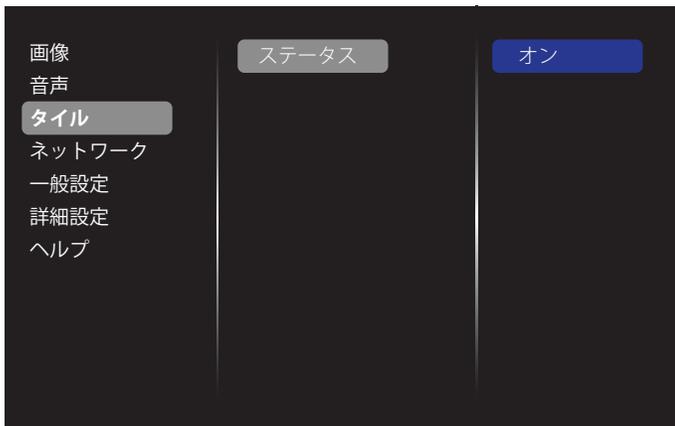
注記：リモコンの黄色キーを押して、テンキーに切り替えます。



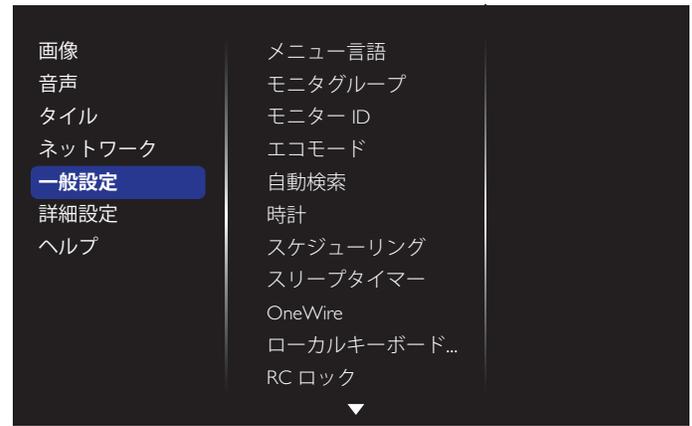
(4). Tiling tool 有効化プロンプトが表示されます。



(5). タイルツールのステータスを確認します



5.1.5. 一般設定



メニュー言語

OSD メニュー言語を設定します。

モニタグループ

グループ範囲を 1 から 255 の値に調整します。デフォルト設定は 255 です。

モニター ID

RS232C 接続経由で本ディスプレイを操作するために ID 番号を調整します。本ディスプレイを複数台接続する場合は、各ディスプレイに一意的 ID を割り当ててください。モニター ID 番号の範囲は 1 から 255 の間です。デフォルト設定は 1 です。

エコモード

この設定により、ディスプレイの消費電力を自動的に低減できます。
注記：エコモードが「ノーマル」に設定されている場合、[オールリセット]メニューから「低電力スタンバイ」のデフォルト設定にリセットできません。ただし、エコモードを「低電力スタンバイ」に手動で設定することはできます。

自動検索

本ディスプレイが利用可能な信号ソースを自動で検出できるように、この機能を有効にします。

時計

本ディスプレイの内部時計に設定された現在の日付と時刻を設定します。

メモ：

サマータイム設定の定義と動作：

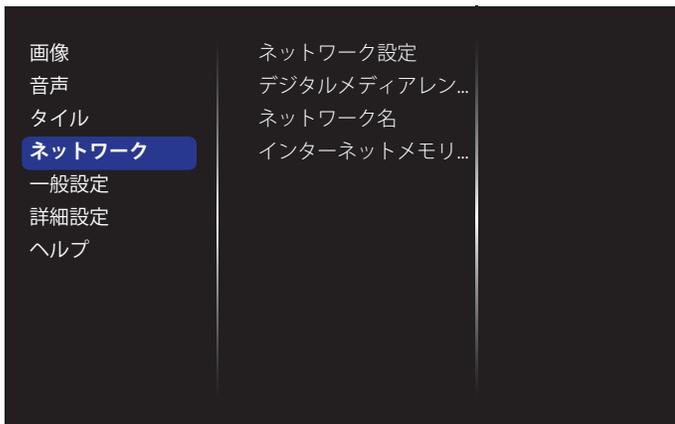
現在のサマータイム設定は、時計でサマータイムのオン / オフを調整する方法を知らないユーザー向けのリマインダーツールとして動作します。実際の時計は自動的に調整しません。問題は、地域または国で定義された時計を調整するときの標準ルールがないことです。この問題を解消するため、サマータイムの開始日と終了日をユーザーが設定する必要があります。サマータイム補正がオンになっている場合（ユーザーが選択可能）、実際の時計はサマータイムをオンおよびオフする日付として設定されている時刻に調整する必要があります。サマータイム設定の開始日の 2 時に時計を 1 時間進めてください。サマータイム設定の終了日の 2 時に時計を 1 時間遅らせてください。

既存のサマータイムオン / オフメニュー項目が以下のメニュー構造に置き換えられます：

メニュー項目 { サマータイム設定 } に、以下の項目が含まれたサブメニューが開きます：

- メニュー項目 { サマータイム開始日 } 選択項目 { 1st, 2nd, 3rd, 4th, 最後 } 選択項目の日曜日 { 1-12 月 }

5.1.4. ネットワーク



ネットワーク設定

- { ネットワーク設定 }：本ディスプレイのネットワークリソースへのアドレスの割り当て方を選択します。
利用可能なオプションは、{DHCP および自動 IP}（推奨）と {スタティック IP} です。
- { ネットワークタイプ }：有線（デフォルト）を選択してネットワークタイプを設定します。

デジタルメディアレンダラ - DMR

ネットワークを経由して、接続されたデバイスからマルチメディアファイルを受信します。

ネットワーク名

複数のディスプレイが接続されている場合、各ディスプレイの名前を変更して識別しやすくなります。

名前を入力するには、画面上のキーパッドまたはリモコン上のキーパッドを使用します。

インターネットメモリをクリアする

クッキー、ブックマーク、履歴一覧やオートフィルで使用したデータをすべて消去します。

- メニュー項目 { サマータイム終了日 } 選択項目 {1st、2nd、3rd、4th、最後} 選択項目の日曜日 {1-12月}
 - メニュー項目 { 補正時間 } 選択項目 {0.5、1.0、1.5、2.0} 時間
 - メニュー項目 { サマータイム設定 } 選択項目 { オン、オフ }
- 「サマータイム設定」が「オン」の場合、サマータイム設定 (2015年4月5日の2時に時刻が1時間遅く設定される、または、2015年10月25日の2時に時刻が1時間早く設定されるなど) で、実際の時計が自動的に調整されるはずですが。

スケジューリング

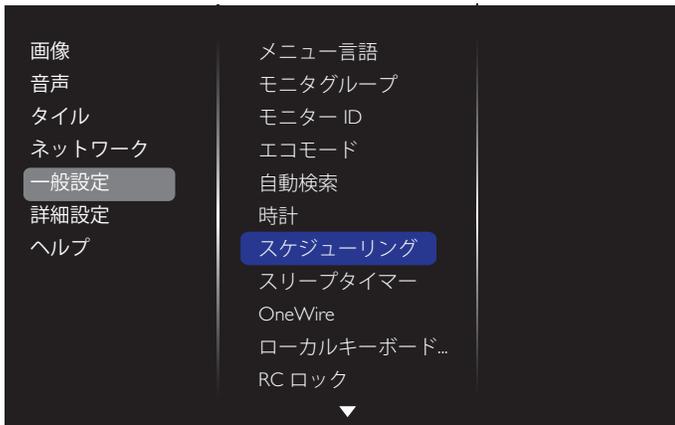
この機能を使うと、最大7つの異なるスケジュール間隔で本ディスプレイを起動することができます。

以下の設定が可能です。

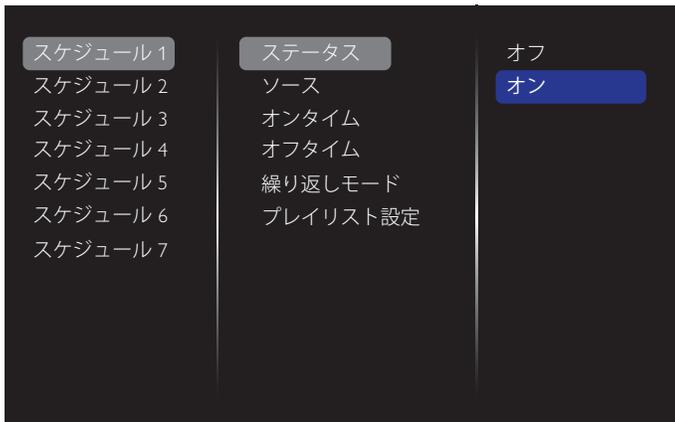
- スケジュールされた各稼働期間で、本ディスプレイがどの入力ソースを使用するか。
- 本ディスプレイを電源オン、電源オフにする時間。
- 本ディスプレイを有効にする曜日。

メモ:

- この機能を使用する前に、{時計}メニューで現在の日付と時刻を設定することをおすすめします。
- {一般設定}メニューにある{時計}オプションを変更した後、この{スケジューリング}をもう一度設定する必要があります。



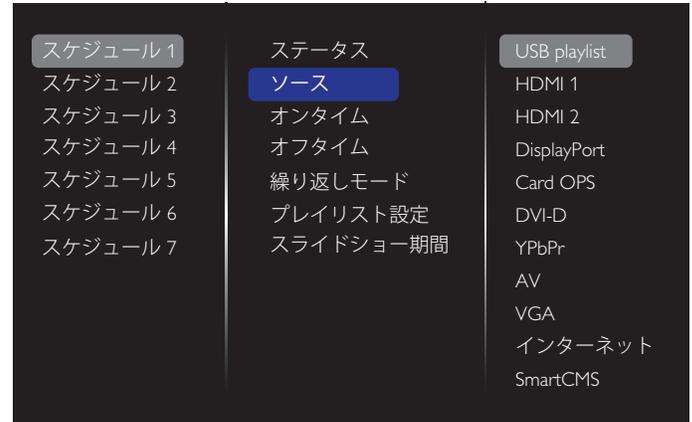
- 最大7つのスケジュールを設定できます。**ステータス**で**オン**を選択します。



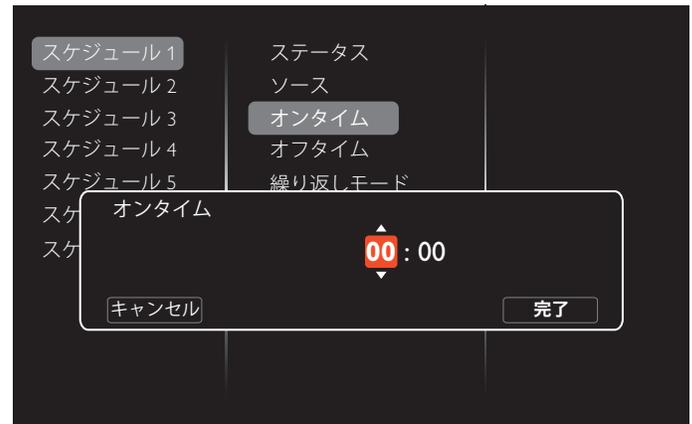
- ソース**で入力ソースを選びます。{ソース} → {USB Playlist}の順に選択した場合は、プレイリストを設定してください。{ソース} → {インターネット}の順に選択した場合は、URLアドレスを設定してください。

注記: {ソース} → {Autoplay}の順に選択した場合は、USBのルートディレクトリに「philips」という名前のフォルダーを

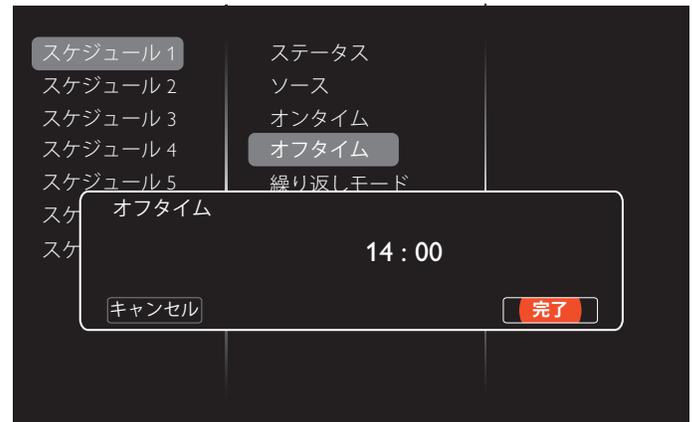
作成し、フォルダーに表示するファイル (画像またはビデオ) を配置してください。



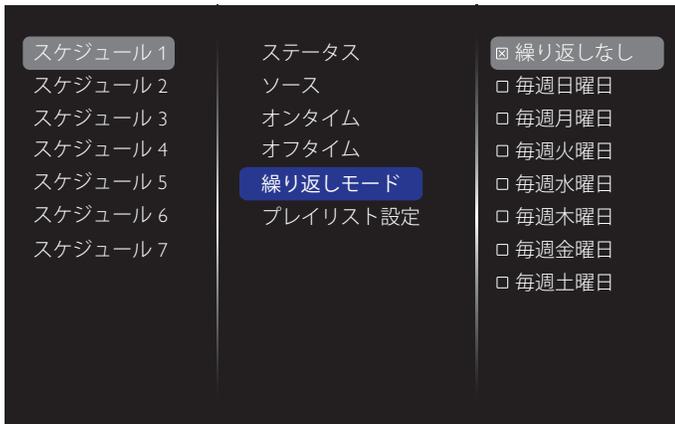
- オンタイム**を設定します。



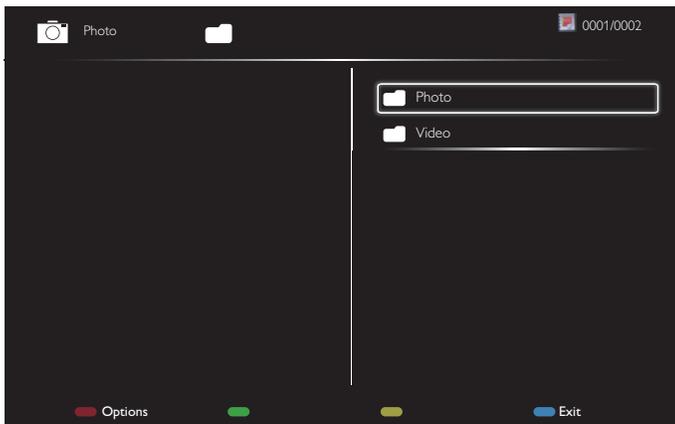
- オフタイム**を設定します。



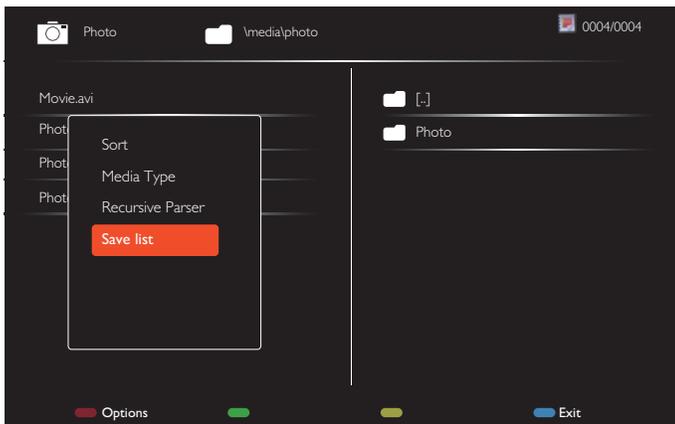
5. 繰り返しモードで繰り返しモードを選択します。



6. {ソース} → {USB} の順に選択した場合は、プレイリスト設定に移動します。



- [▲][▼] ボタンを押し、ファイルを選択します。
 - [←][→] ボタンを押し、プレイリストとファイルマネージャーとを切り替えます。
 - [OK] ボタンを押し、プレイリストを設定または消去します。
7. プレイリストを保存するには、[] を押し、[保存リスト] を選択します。



メモ:

- それぞれのプレイリストは最大 30 ファイルまで対応しています。
- {工場出荷時設定} で、デフォルト設定に設定した場合でも、プレイリストはクリアされません。ファイルを手動で削除するか、USB 内にある usb_schedulinglist.txt を削除する必要があります。

スリープタイマー

事前に設定した時間が経過した後、ディスプレイをオフにします。

OneWire

本ディスプレイの HDMI-CEC 規格に対応したデバイスを HDMI 端子で接続し、同じリモコンを使って操作します。

ローカルキーボードロック

本ディスプレイのキーボード(コントロールボタン)機能を有効または無効にします。

- {ロック解除}: キーボード機能を有効にします。
- {すべてロックする}: すべてのキーボード機能をロックします。
- {音量以外をロックする}: [ー] および [+] ボタン以外のすべてのキーボード機能を無効にします。
- {電源以外をロックする}: [⏻] ボタン以外のすべてのキーボード機能を無効にします。
- {音量と電源以外をロックする}: [ー], [+] および [⏻] ボタン以外のすべてのキーボード機能を無効にします。

RC ロック

リモコンのボタン機能を有効または無効にします。

- {ロック解除}: リモコン機能を有効にします。
- {すべてロックする}: すべてのリモコン機能をロックします。
- {音量以外をロックする}: [ー] および [+] ボタン以外のすべてのリモコン機能を無効にします。
- {電源以外をロックする}: [⏻] 電源 ボタン以外のすべてのリモコン機能を無効にします。
- {音量と電源以外をロックする}: [ー][+] および [⏻] 電源 ボタン以外のすべてのリモコン機能を無効にします。

注記: ローカルキーボードロックまたは RC ロックのロック機能を無効にするには、リモコンの [⬆] ボタンと **1998** を押します。

ピクセルシフト

ビデオ入力ソースに対して、30 秒間本ディスプレイを使用しなかった場合に生じる「焼き付き」や「後イメージ」からディスプレイを保護するために、{オン} を選択して画面イメージを自動的に動かすことができます。

スマートパワー

動的電力消費および画像コントラストを最適化するため、バックライトのレベルを選択します。

オプションは次の通りです。{オフ}、{標準}、{中}、{高} 時計をから選択します。

ウェイクオン LAN

{オン} を選択し、ネットワーク経由でディスプレイをオンにします。

電源オン

電源コードを次回接続するときに、ディスプレイに適用するステータスを選択します。

- {オン} - 電源コードを取り付けた後、ディスプレイはオンの状態になります。
- {スタンバイ} - 電源コードを取り付けた後、ディスプレイはスタンバイモードになります。
- {最新ステータス} - 電源コードを外して再び取り付けると、ディスプレイは前の電源ステータス(オン/オフ/スタンバイ)に戻ります。

光センサ

{オン} を選択すると、画面はバックライトを自動的に調整します。このオプションは、CRD41 を接続したときにのみ利用できます。

人感センサー

人の存在を検出した場合、バックライトを点灯するようにディスプレイを設定します。また、事前設定した時間の経過後、バックライトを消灯するようにディスプレイを設定します。

オプションは次の通りです。{ オフ、10 ~ 60 } 分。この項目は、CRD41 を接続したときのみ利用できます。

電源 LED ライト

電源 LED インジケータをオフにするには { オフ } を選択します。

ロゴを表示する

{ オフ } を選択すると、ディスプレイに電源を入れるとき、Philips ロゴが表示されます。

APM

この機能が { オン } に設定されているとき、信号が検出されない場合、ディスプレイは自動的に電源が切れます。

ソース通知

  電源ボタンを押して本ディスプレイをスタンバイモードからオンにしたり、入力信号を変更した場合には、情報 OSD が画面の左上隅に表示されます。

この機能をオフにするには { オフ } を選択します。

DisplayPort Ver.

DisplayPort バージョンを 1.1a または 1.2 に設定します。この設定は DisplayPort の入力と出力でのみ有効です。

1.1a: DisplayPort バージョンを 1.1a (デフォルト) に切り替えます。DisplayPort 出力は DisplayPort 入力のクローンです。

1.2: DisplayPort バージョンを 1.2 に切り替え、MST (マルチストリーム移送) をサポートします。

メモ :

- DisplayPort ソースの下で画面が暗くなったり、異常な状態になった場合、1.1 a に切り替え、電源を入れ直してください。
- DP デイジーチェーンアプリケーションの場合は、すべての PD で同じ DP バージョンを選択してください。

冷却ファン

冷却ファンを常に回しておくには { オン } を選択します。{ 自動 } を選択すると、ディスプレイの温度に応じて冷却ファンの電源がオンまたはオフになります。

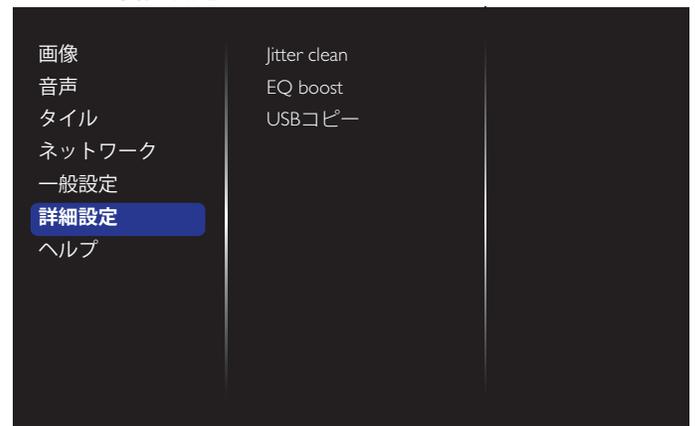
メモ :

- デフォルトの { 自動 } オプションでは、温度が 45°C (113°F) に達すると冷却ファンが回り始めます。温度が 43°C (109°F) に達すると、冷却ファンは動作を停止します。
- 温度が 58°C (136°F) に達すると、画面に温度警告メッセージが表示されます。[] キー以外は機能しなくなります。
- 温度が 60°C (140°F) に達すると、本ディスプレイの電源は自動的にシャットダウンされます。

工場出荷時設定

カスタマイズされたすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。

5.1.6. 詳細設定



Jitter clean

HDMI および DVI の信号品質を強化させるため、Jitter clean のオン / オフを切り替えます。デフォルト設定はオンです。

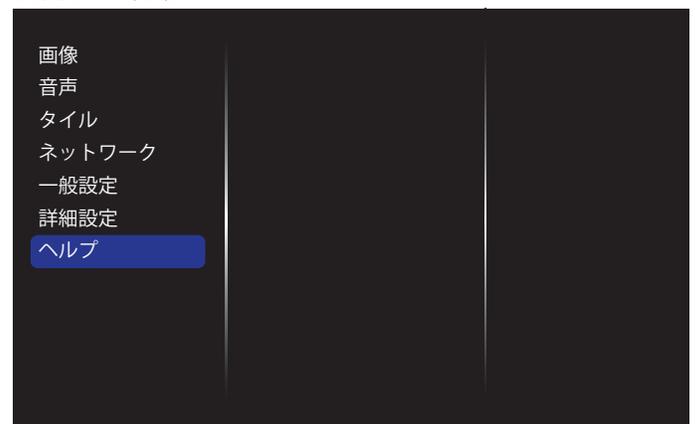
EQ boost

デジタル信号 EQ boost を調整します。

USB コピー

「Welcomelogo.png」のユーザーロゴを内部メモリにコピーします。

5.1.7. ヘルプ



6. USB デバイス互換性

USB 動画サブタイトルのフォーマット (言語字幕など)

ファイル拡張子	コンテナ	ビデオコーデック	最大解像度	最大フレームレート (fps)	最大ビットレート (Mbps)	オーディオコーデック
.mpg mpeg .vob	補足	MPEG-1	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	MPEG-1 (L1&L2)、 MPEG-1, 2, 2.5 L3、 AAC/HE-AAC (v1&v2)、 DVD-PCM
		MPEG-2	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	
		H.264	1920x1080	25p,30p,50p,60p, 60i	30	
.ts	TS	MPEG-2	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	MPEG-1 (L1&L2)、 MPEG-1, 2, 2.5 L3、 AAC/HE-AAC (v1&v2)
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	
		H.264	1920x1080	25p,30p,50p,60p, 60i	30	
		MVC	1920x1080i@ フレームレート = 50、60Hz 1920x1080p@ フレームレート = 24、25、 30Hz 1280x720p@ フレームレート = 50、60Hz	-	30	
.ts .m2ts .mts .mt2	MaTS TTS	MPEG-2	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	MPEG-1 (L1&L2)、 MPEG-1, 2, 2.5 L3、 AAC/HE-AAC (v1&v2)
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	
		H.264	1920x1080	25p,30p,50p,60p, 60i	30	
		MVC	1920x1080i @ フレームレート = 50、60Hz 1920x1080p @ フレームレート = 24、25、 30Hz 1280x720p @ フレームレート = 50、60Hz	-	30	
.ts .m2ts .mts	AVCHD	MPEG-2	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	MPEG-1 (L1&L2)、 MPEG-1, 2, 2.5 L3、 AAC/HE-AAC (v1&v2)
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	
		H.264	1920x1080	25p,30p,50p,60p, 60i	30	
.ts .m2ts .mts	AVCHD	MVC	1920x1080i@ フレームレート = 50、60Hz 1920x1080p@ フレームレート = 24、25、 30Hz 1280x720p @ フレームレート = 50、60Hz	-	30	MPEG-1 (L1&L2)、 MPEG-1, 2, 2.5 L3、 AAC/HE-AAC (v1&v2)
		H.264	1920x1080	25p,30p,50p,60p, 60i	30	AAC
.ism/ Manifest .mpd	frag MP4	H.264	1920x1080	25p,30p,50p,60p, 60i	30	AAC/HE-AAC (v1&v2)、 WMA、WMA-PRO
		MVC	1920x1080i@ フレームレート = 50、60Hz 1920x1080p@ フレームレート = 24、25、 30Hz 1280x720p @ フレームレート = 50、60Hz	-	30	
.mp4	MP4	MPEG-4 ASP	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	AAC/HE-AAC (v1&v2)、 WMA、WMA-PRO
		H.264	1920x1080		30	
		MVC	1920x1080i@ フレームレート = 50、60Hz 1920x1080p@ フレームレート = 24、25、 30Hz 1280x720p @ フレームレート = 50、60Hz	-	30	
		WMV9/VC1	1920x1080	30p, 60i	30	
.mkv .mk3d	MKV	MPEG-4 ASP	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	MPEG-1 (L1&L2)、 MPEG-1, 2, 2.5 L3、 AAC/HE-AAC (v1&v2)、 WMA、WMA-PRO
		H.264	1920x1080		30	

USB マルチメディアのフォーマット

ファイル拡張子	コンテナ	ビデオ コーデック	最大解像度	周波数 (kHz)	最大ビットレート (Mbps)	オーディオコーデック
.mp3	MP3	-	-	48	384	MPEG-1、2、2.5 L3
.wma .asf	WMA (V2、最大 V9.2)	-	-	48	192	WMA
.wma	WMA Pro	-	-	96	768	WMA、WMA Pro
.wav (PC)	LPCM	-	-	192	768	LPCM
.aif (mac) .aiff (mac)	LPCM	-	-	192	768	LPCM
.aac .mp4 .m4a	AAC	-	-	48	1024	AAC、HE-AAC (v1&v2)
.pls .m3u	プレイリスト	-	-	-	-	-
.m4a	M4A	-	-	48	1024	AAC、HE-AAC (v1&v2)

USB 画像のフォーマット

ファイル 拡張子	コンテナ	ビデオ コーデック	最大解像度	周波数	最大ビット レート	オーディオ コーデック
jpg/jpeg	JPEG		ベースライン： カラーモード = 444、 サイズ <= 32768x16128 カラーモード = 422v、 サイズ <= 16384x16128 カラーモード = その他、未対応	-	-	-
bmp	BMP		4096x3072_4 ビット、 2730x2500_8 ビット、 2048x1536_16 ビット、 1500x1200_32 ビット、	-	-	-
png	PNG		4096x3072_4 ビット、 2730x2500_8 ビット、 2048x1536_16 ビット、 1500x1200_32 ビット、	-	-	-
gif	GIF		4096x3072_4 ビット、 2730x2500_8 ビット、 2048x1536_16 ビット、 1500x1200_32 ビット、	-	-	-

- メモ：
- ・ コンテンツが上記のテーブルに記された対応フレーム / 秒以上の標準ビットレート / フレーム率である場合、音声や動画が作動しない可能性があります。
 - ・ コンテンツが上記のテーブルに記述された比率以上のビットレートやフレーム率である場合、再生すると途切れがちな映像になる可能性があります。

7. 入力モード

VGA 解像度：

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュレートの	画素レート	縦横比	モードの標準
	水平画素	垂直線				
VGA	640	480	60 Hz	25.175 MHz	4:3	ビデオグラフィックアレイ
			72 Hz	31.5 MHz		
			75 Hz	31.5 MHz		
WVGA	720	400	70 Hz	33.75 MHz	16:9	ワイドビデオグラフィックアレイ
SVGA	800	600	60 Hz	40 MHz	4:3	スーパー VGA
			75 Hz	49.5 MHz		
XGA	1024	768	60 Hz	65 MHz	4:3	拡張グラフィックアレイ
			75 Hz	78.75 MHz		
WXGA	1280	768	60 Hz	79.5 MHz	5:3	ワイド XGA
WXGA	1280	800	60 Hz	79.5 MHz	16:10	ワイド XGA
SXGA	1280	960	60 Hz	108 MHz	4:3	スーパー XGA
SXGA	1280	1024	60 Hz	108 MHz	5:4	スーパー XGA
WXGA	1360	768	60 Hz	85.5 MHz	16:9	ワイド XGA
WXGA	1366	768	60 Hz	85.5 MHz	16:9	ワイド XGA
UXGA	1600	1200	60 Hz	162 MHz	4:3	ウルトラ XGA
HD1080	1920	1080	60 Hz	148.5 MHz	16:9	HD1080

HD 解像度：

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュレートの	画素レート	縦横比	モードの標準
	水平画素	垂直線				
720p	1280	720	50 Hz	74.25 MHz	16:9	通常は DVB モード
			60 Hz			
1080i	1920	1080	25 Hz	74.25 MHz	16:9	通常は ATSC モード
			30 Hz			
1080p	1920	1080	50 Hz	148.5 MHz	16:9	通常は ATSC モード
			60 Hz			

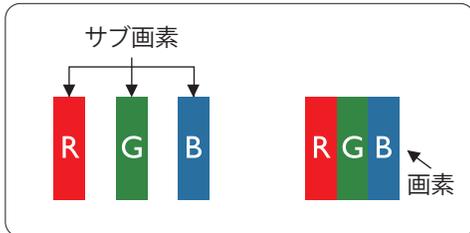
- ・ PC のテキスト品質は、HD 1080 モード (1920 × 1080、60Hz) で最適です。
- ・ お使いの PC ディスプレイ画面は、メーカー（および Windows の特定のバージョン）により異なって表示されることがあります。
- ・ PC をディスプレイに接続する情報については、お使いの PC の取扱説明書を確認してください。
- ・ 垂直と水平の周波数選択モードが存在する場合、60 Hz（垂直）と 31.5 KHz（水平）を選択します。場合によって、PC の電源がオフの場合（または PC が接続されていない場合）に異常な信号（筋など）が画面に表示されることがあります。その場合は [入力] ボタンを押してビデオモードに入ります。また、PC が接続されていることを確認してください。
- ・ 水平同期信号が RGB モードで不規則に見えるときは、PC の省電力モードまたはケーブル接続を確認してください。
- ・ 本ディスプレイの設定表は IBM/VESA 規格に準拠しており、アナログ入力に基づいています。
- ・ DVI サポートモードは PC サポートモードと同じと見なされます。
- ・ 各モードの最適な垂直周波数は 60 Hz です。

8. 画素欠陥ポリシー

当社は最高品質の製品をお届けすることを目指して、業界でもっとも進んだ製造プロセスと可能な限りもっとも厳しい品質管理を採用しています。しかしながら、プラズマおよび LCD ディスプレイで使用される PDP/TFT パネルの画素またはサブ画素に欠陥が生じるのはやむを得ない場合があります。すべてのパネルに画素欠陥がないことを保証できるメーカーはありませんが、Philips では保証期間中であれば、地域の保証条件と一致して、受け入れられない数の欠陥があるプラズマおよび LCD ディスプレイを修理または交換することを保証します。

この通知はさまざまな種類の画素欠陥を説明し、LCD 画面について受け入れられる欠陥レベルを定義するものです。保証に基づき修理の資格を得るには、欠陥画素の数が参照表で示した特定のレベルを超えている必要があります。LCD 画面が仕様の範囲内である場合、保証による交換 / 返金はお断りいたします。また、ある種類または組み合わせの画素欠陥が他のものより顕著であることもあるため、Philips ではこれらのものに対してより高い品質規格を設定しています。

8.1. 画素とサブ画素



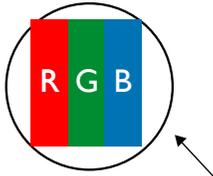
画素、または画像要素は赤、緑、青の原色の 3 つのサブ画素で構成されています。多くの画素が集まって画像を形成します。画素のすべてのサブ画素が明るいと、3 つの色が付いたサブ画素が 1 つの白い画素として一緒に表示されます。すべての画素が暗くなると、3 つの色が付いたサブ画素は 1 つの黒い画素として集まって表示されます。点灯するサブ画素と暗いサブ画素のその他の組み合わせは、他の色の 1 つの画素として表示されます。

8.2. 画素欠陥の種類 + ドット定義

画素とサブ画素の欠陥は、さまざまな方法で画面に表示されます。画素欠陥には 3 つのカテゴリーがあり、各カテゴリーにはいくつかの種類の子画素欠陥があります。

ドット定義 = 欠陥のある「ドット」とは何か？

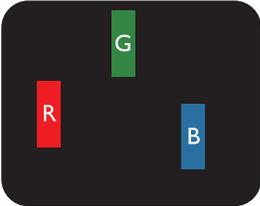
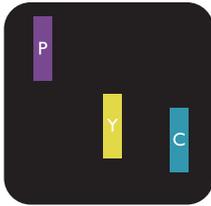
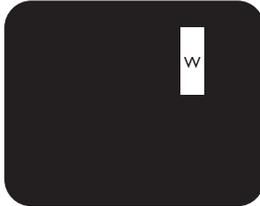
1 つ以上の欠陥、隣接するサブ画素は 1 つの「ドット」として定義されます。欠陥のあるサブ画素の数は、欠陥ドットの定義に関連しません。つまり、欠陥ドットは 1、2 または 3 つの暗いまたは点灯する、欠陥サブ画素で構成されることがあります。



1 つのドット = 赤、緑、青の 3 つのサブ画素で構成される 1 つの画素。

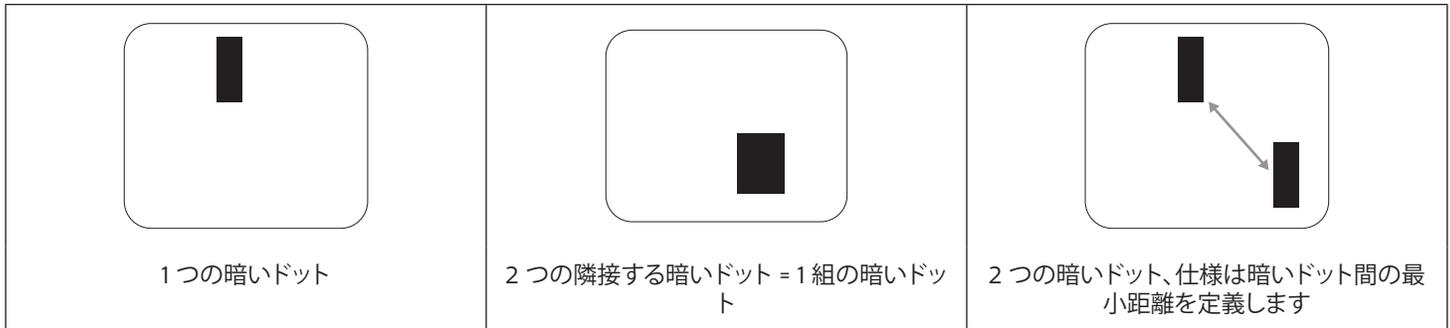
8.3. 明るいドット欠陥

明るいドット欠陥は、常時点灯または「オン」になっている画素またはサブ画素として表されます。以下に、明るいドット欠陥の例を紹介します。

 <p>1 つの点灯する赤、緑または青いサブ画素。</p>	 <p>2 つの隣接する点灯サブ画素： 赤 + 青 = 紫 赤 + 緑 = 黄 緑 + 青 = 青緑 (ライトブルー)</p>	 <p>3 つの隣接する点灯サブ画素 (1 つの白い画素)</p>
--	--	--

8.4. 暗いドット欠陥

暗いドット欠陥は、常に暗いかまたは「オフ」になっている画素またはサブ画素として表されます。以下に、暗いドット欠陥の例を紹介します。



8.5. 画素欠陥の近接

互いに近くにある同じ種類の画素とサブ画素欠陥はとも目立つため、Philips では画素欠陥の近接の許容範囲についても指定しています。以下の表で、その仕様をご確認ください。

- ・ 許容される量の隣接する暗いドット = (隣接する暗いドット = 1組の暗いドット)
- ・ 暗いドット間の最小距離
- ・ すべての欠陥ドットの総数

8.6. 画素欠陥の許容範囲

保証期間中に画素欠陥による修理または交換の資格を得るには、Philips プラズマ /LCD ディスプレイの PDP/TFT モニタパネルに、次の表に一覧された許容範囲を超えた画素またはサブ画素欠陥がある必要があります。

明るいドット効果	受け入れられるレベル
1つの明るいサブ画素	2
黒いドット欠陥	受け入れられるレベル
1つの暗いサブ画素	10
すべての種類の総ドット欠陥	12

注記: * 1つまたは 2つの隣接するサブ画素欠陥 = 1つのドット欠陥

8.7. MURA

一部の LCD (液晶ディスプレイ) パネルには、暗い点またはパッチがときどき現れることがあります。この現象は、日本語の「ムラ」という用語である Mura として業界では知られています。これは、均一でない画面均一性が特定の条件下で現れる領域の均一でないパターンを説明するために使用されます。Mura は液晶配向層の劣化の結果で、高い周辺温度下での長期間の操作が原因でもっとも一般的に引き起こされます。これは業界全体の現象で、Mura は修理できません。これも、当社の保証条件の対象外です。

Mura は LCD 技術の導入から、画面が大きくなり 1日 24 時間休みなしに稼働するようになり、多くのディスプレイが低い低光量の条件下で動作されるようになってからずっとつきまとっています。こういったことすべてが、ディスプレイに影響を与える Mura の可能性を高めています。

Mura を見分ける方法

Mura には多くの症状と、複数の原因があります。これらのいくつかを、以下に一覧します。

- ・ 結晶マトリックスの混入物または異物
- ・ 製造中の液晶マトリックスの不均等な分布
- ・ バックライトの付近位置な輝度分布
- ・ パネル部品誘発ストレス
- ・ LCD セル内部の傷
- ・ 熱誘発ストレス - 長期間にわたる高温での操作

Mura を避ける方法

毎回 Mura を完全に根絶する保証はできませんが、一般に Mura の出現は以下の方法により最小限に抑えることができます。

- ・ バックライトの明るさを下げる
- ・ スクリーンセーバーを使用する
- ・ 装置周囲の空気温度を下げる

9. 清掃とトラブルシューティング

9.1. 清掃

本ディスプレイを使用する際の注意

- ・ 手や顔、物を本ディスプレイの通気口に近づけないでください。本ディスプレイの上部は、通気口から放出される高温の排気のため、通常は高温となっています。身体の一部を近づけすぎると、火傷や怪我をすることがあります。本ディスプレイの上部近くになんらかの物を置くと、この物およびディスプレイ自体に熱関連の損傷が起こることがあります。
- ・ 本ディスプレイを移動する際は、必ずすべてのケーブルを抜いてください。ケーブルが接続されたままディスプレイを移動させると、ケーブルが損傷し、その結果、火事や感電の恐れがあります。
- ・ あらゆる種類の清掃や保守作業を行う前に、安全対策として電源プラグをコンセントから抜いてください。

前面パネル清掃手順

- ・ 本ディスプレイの前面には特別な処理が施されています。表面は布巾または柔らかい糸くずの出ない布で優しく拭いてください。
- ・ 表面が汚れてきた場合には、中性洗剤の溶液に柔らかい、糸くずの出ない布を浸します。布を強く絞り、余分な水分を除きます。本ディスプレイの表面を拭き、埃を除いてください。その後、同じ種類の乾いた布で拭いてください。
- ・ 爪やあらゆる種類の堅い物でパネル表面を引っ掻いたり、ぶつけないでください。
- ・ 殺虫剤、溶剤、シンナーのような揮発性物質を使用しないでください。

キャビネット清掃手順

- ・ キャビネットが汚れたら、柔らかい乾いた布で拭いてください。
- ・ キャビネットがひどく汚れている場合には、中性洗剤の溶液に柔らかい、糸くずの出ない布を浸します。布を絞り、できるだけ水分を除きます。キャビネットを拭き取ります。表面が乾くまで、別の乾いた布で拭きます。
- ・ 本ディスプレイの表面には、水や洗剤が触れないようにしてください。水や水分が本ディスプレイ内部に入り込むと、動作上の問題、電氣的障害、および感電事故が起こる恐れがあります。
- ・ 爪やあらゆる種類の堅い物でキャビネットを引っ掻いたり、ぶつけないでください。
- ・ キャビネットには殺虫剤、溶剤、シンナーのような揮発性物質を使用しないでください。
- ・ 長期間ゴムまたはポリ塩化ビニル製の物をキャビネット近くに置かないでください。

9.2. トラブルシューティング

症状	想定される原因	対処
画像が表示されない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源コードが抜けています。 2. 本ディスプレイの背面にある主電源スイッチが ON になっていません。 3. 選択された入力が接続されていません。 4. ディスプレイがスタンバイモード中です。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源コードをコンセントに差し込みます。 2. 電源スイッチが ON であることを確認します。 3. 本ディスプレイに信号接続を接続します。
本ディスプレイで表示される画像が乱れる、または音声にノイズが聞こえる	周囲の電子機器や蛍光灯が原因です。	干渉が少なくなるような別の場所に本ディスプレイを移動させます。
色がおかしい	信号ケーブルが正しく接続されていません。	本ディスプレイの背面に信号ケーブルが確実に接続されていることを確認します。
画像が異常なパターンで歪んでいる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 信号ケーブルが正しく接続されていません。 2. 入力信号が本ディスプレイの能力を超えています。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 信号ケーブルが確実に接続されていることを確認します。 2. 本ディスプレイの範囲を超えていないか、ビデオ信号ソースを確認します。本ディスプレイの仕様のセクションで、仕様を確認してください。
表示画像が画面サイズいっぱいに表示されない	<ol style="list-style-type: none"> 1. ズームモードが正しく設定されていません。 2. スキャンモードが間違っアンダースキャンに設定されています。 3. 画像が画面サイズを超える場合、スキャンモードをアンダースキャンに設定する必要があります。 	画面設定メニューのズームモードまたはカスタムズーム機能を使用して、ディスプレイのジオメトリと周波数パラメータを微調整します。
音声は聞こえるが、画像が表示されない	ソース信号ケーブルが正しく接続されていません。	ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されていることを確認します。
画像は表示されるが、音声聞こえない	<ol style="list-style-type: none"> 1. ソース信号ケーブルが正しく接続されていません。 2. 音量が一番低く設定されています。 3. { 消音 } がオンになっている。 4. 外部スピーカーが接続されていません。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されていることを確認します。 2. [+] または [-] ボタンを押して音声が聞こえるか確認します。 3. [] ボタンを使って消音をオフにします。 4. 外部スピーカーを接続し、適切なレベルに音量を調整します。
一部の画素が光らない	ディスプレイの一部のピクセルがオフになっています。	本ディスプレイは超ハイレベルな精密技術で製造されています。しかし、画面の一部に画素欠けが存在する場合があります。これは故障ではありません。
電源をオフにした後も残像が表示されています。(例: ロゴ、ビデオゲーム、コンピュータ画像、4:3 のノーマルモードで表示された画像を含む静止画像)	静止画像が時間より長く表示されていました。	長期間静止画像を表示しないようにしてください。本ディスプレイ上に永続的な残像が残る原因となるためです。

10. 技術仕様

ディスプレイ:

項目	仕様
画面サイズ (アクティブ領域)	54.6 インチ (138.7 cm) LCD
縦横比	16:9
画素数	1920 (水平) x 1080 (垂直)
画素ピッチ	0.63 (横) x 0.63 (縦) [mm]
表示可能色	10 ビット、10 億 7000 万色
明るさ (標準)	500 cd/m ²
コントラスト比 (標準)	1200:1
表示角度	178 度

入 / 出力端子:

項目	仕様
スピーカー出力	内部スピーカー 外部スピーカー 10W (左) + 10W (右) [RMS]/8 Ω 82 dB/W/M/160 Hz ~ 13 KHz
音声出力	フォンジャック x 1 0.5V [rms] (通常) / 2 チャンネル (L+R)
音声入力	RCA ジャック x 2 3.5mm ステレオ x 1 0.5V [rms] (通常) / 2 チャンネル (L+R)
RS232 入力 / 出力	2.5mm フォンジャック x 2 RS232 入力 / RS232 出力
IR 入力 / 出力	3.5mm フォンジャック x 2 IR 入力 / IR 出力
RJ-45 入力 / 出力	RJ-45 ジャック x 2 (8 ピン) 10/100 LAN ポート
HDMI 入力	HDMI ジャック x 2 (タイプ A) (18 ピン) デジタル RGB: TMDS (ビデオ + 音声) 最大: 動画 - 720p, 1080p, 3840 x 2160/30 Hz 音声 - 48 KHz / 2 チャンネル (L+R) LPCM のみサポート
DVI-D 入力	DVI-D ジャック デジタル RGB: TMDS (ビデオ)
VGA 入力	D-Sub ジャック x 1 (15 ピン) アナログ RGB: 0.7V [p-p] (75 Ω), H/CS/V: TTL (2.2k Ω), SOG: 1V [p-p] (75 Ω) 最大: 1920 x 1080/60 Hz (FHD)
DVI-I (DVI-D & VGA) 出力	DVI-I ジャック x 1 (29 ピン) デジタル RGB: TMDS (ビデオ) アナログ RGB: 0.7V [p-p] (75 Ω), H/CS/V: TTL (2.2k Ω), SOG: 1V [p-p] (75 Ω) 最大: 1920 x 1080/60 Hz (FHD)
コンポーネント入力	BNC ジャック x 3 Y: 1V [p-p] (75 Ω), Pb: 0.7V [p-p] (75 Ω), Pr: 0.7V [p-p] (75 Ω) 最大: 480i, 576i, 480p, 576p, 720p, 1080i, 1080p
ビデオ入力	BNC x 1 (Component_Y と共有) コンポジット 1V [p-p] (75 Ω)
ディスプレイポート 入力 / 出力	ディスプレイポート ジャック x 2 (20 ピン) デジタル RGB: TMDS (ビデオ + 音声) 最大: 動画 - 720p, 1080p, 3840 x 2160/30Hz 音声 - 48 KHz / 2 チャンネル (L+R) LPCM のみサポート

一般：

項目	仕様
電源	AC 100 - 240V、50/60Hz
消費電力 (最大)	320 W
消費電力 (標準)	160 W
消費電力 (スタンバイ & オフ)	0.5 W 以下
寸法 [幅 x 高さ x 奥行]	1213.4 x 684.2 x 98 mm (壁取り付けの場合の奥行)/99.2 mm (ハンドルの場合の奥行)
重量	26.2 Kg
総重量	36.0 Kg
エネルギー効率クラス	A
可視画面サイズ	1209.6 x 680.4 mm
オンモード時の電力消費量 (W)	106 W
年間エネルギー消費量 (kWh)	155 kWh
スタンバイ時の電力消費量 (W)	0.50 W 以下
オフモード時の電力消費量 (W)	0 W
ディスプレイ解像度 (ピクセル)	1920 x 1080
ネットワークスタンバイ (W)	2 W

環境条件：

項目	仕様	
温度	操作時	0 ~ 40 °C
	保管時	-20 ~ 60 °C
湿度	操作時	20 ~ 80 % RH (結露なし)
	保管時	5 ~ 95 % RH (結露なし)
高度	操作時	0 ~ 3,000 m
	保管時 / 輸送中	0 ~ 9,000 m



2020 © Koninklijke Philips N.V. All rights reserved.

PhilipsとPhilips Shield EmblemはKoninklijke Philips N.V.の登録商標で、Koninklijke Philips N.V.からライセンスを受けて使用されています。

仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。